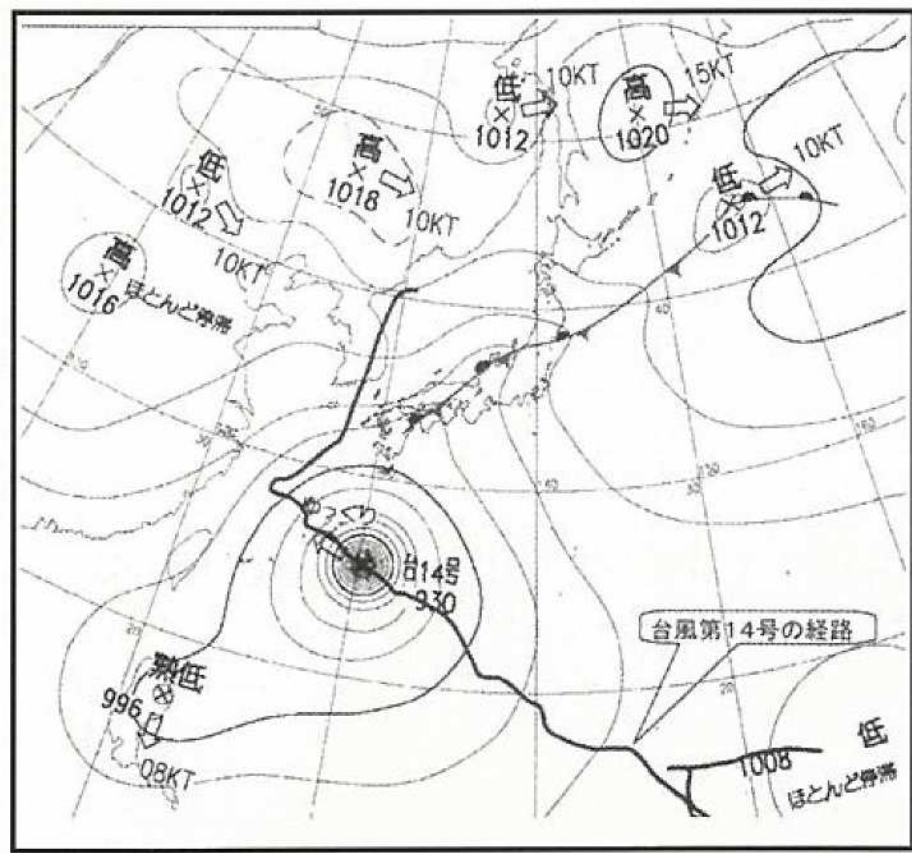


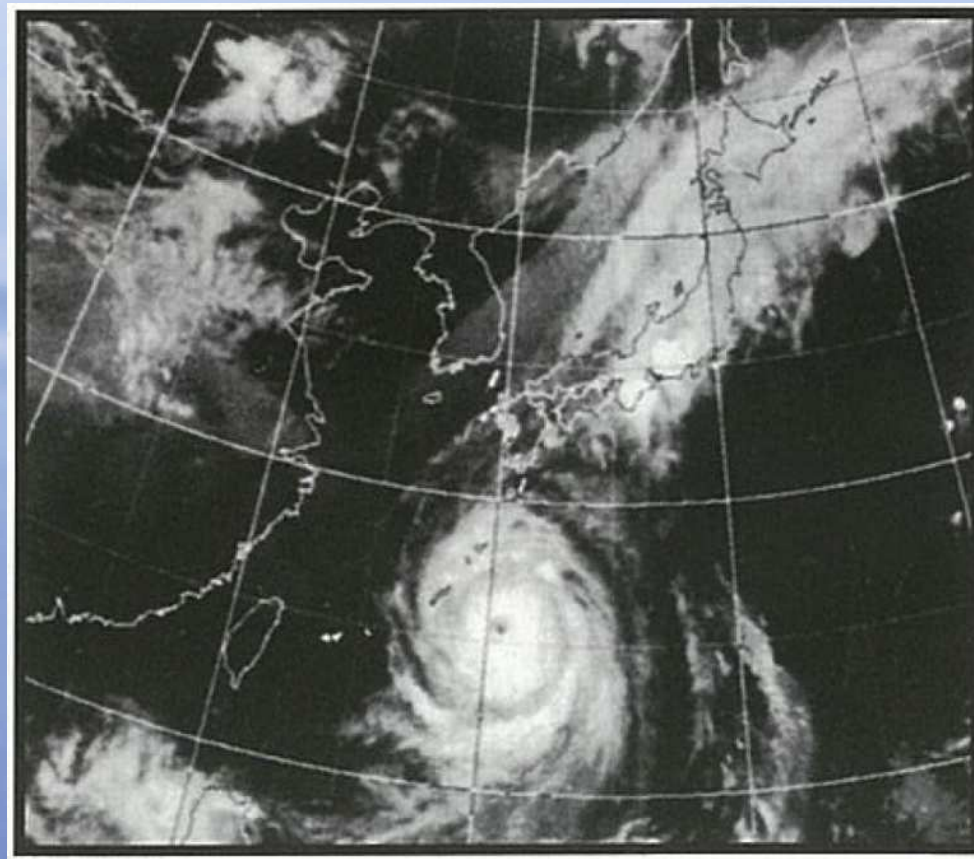
議題(1) 東海豪雨の降雨と被害状況

①東海豪雨時の 気象の概況

◆天気図・ひまわり画像



平成12年9月11日21時現在
の天気図

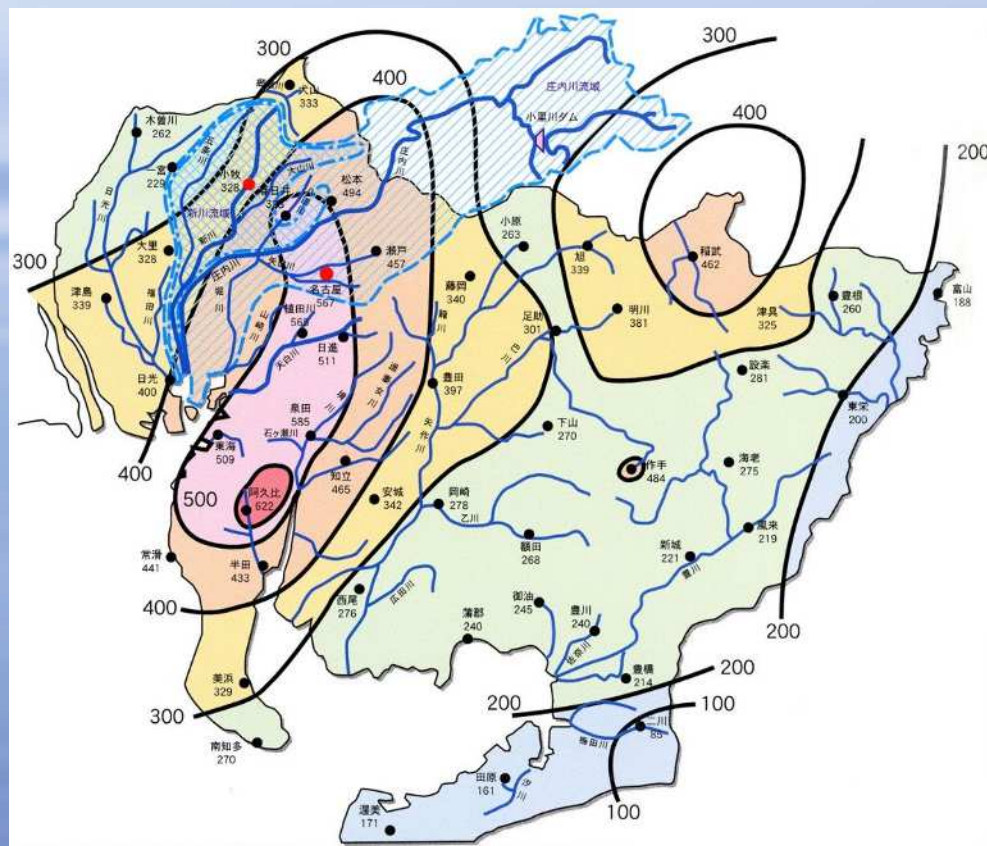


平成12年9月11日19時現在
の「ひまわり」の画像

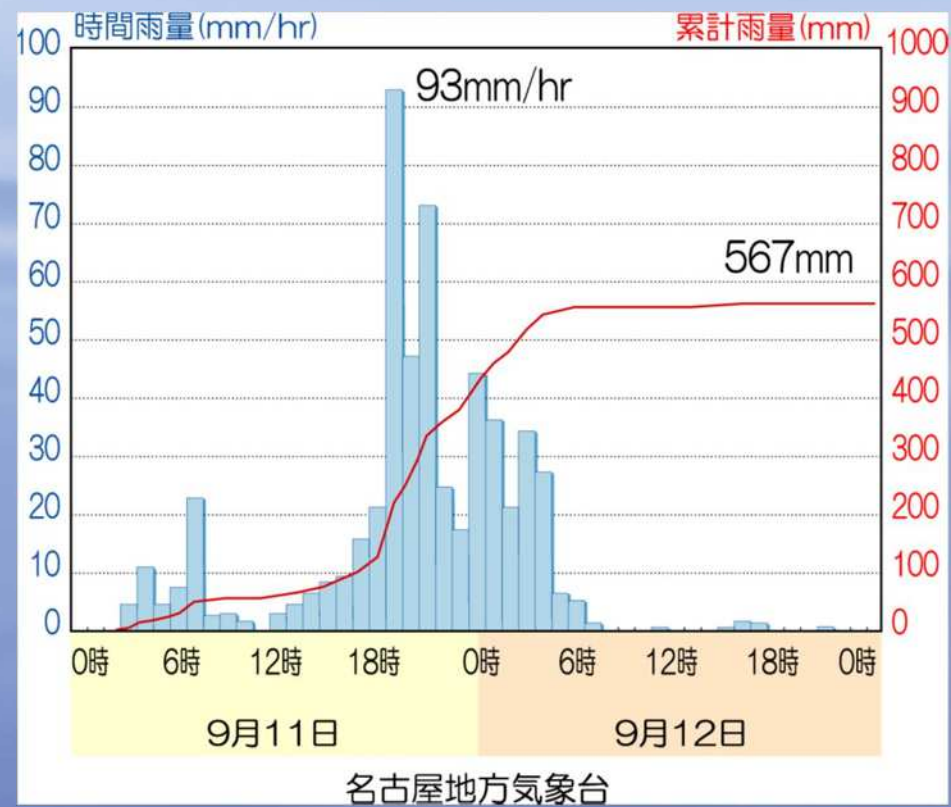
前線に向かって台風から暖く湿った空気が多量に流れ込み、東海地方の大気の状態は非常に不安定な状態になった。「湿舌」という言葉が使われる。

◆等雨量線図・時間雨量・累積雨量

■愛知県等雨量線図（総雨量）



■時間雨量と累計雨量



名古屋地方気象台
・時間雨量 93mm
・2日間の総雨量 567mm

1年間の降水量の
約1/3が
ほぼ1日で降った

矢作川右岸から庄内川流域までの広い範囲で多くの雨が降った。

②庄内川・新川の 出水の状況

◆庄内川・新川位置図

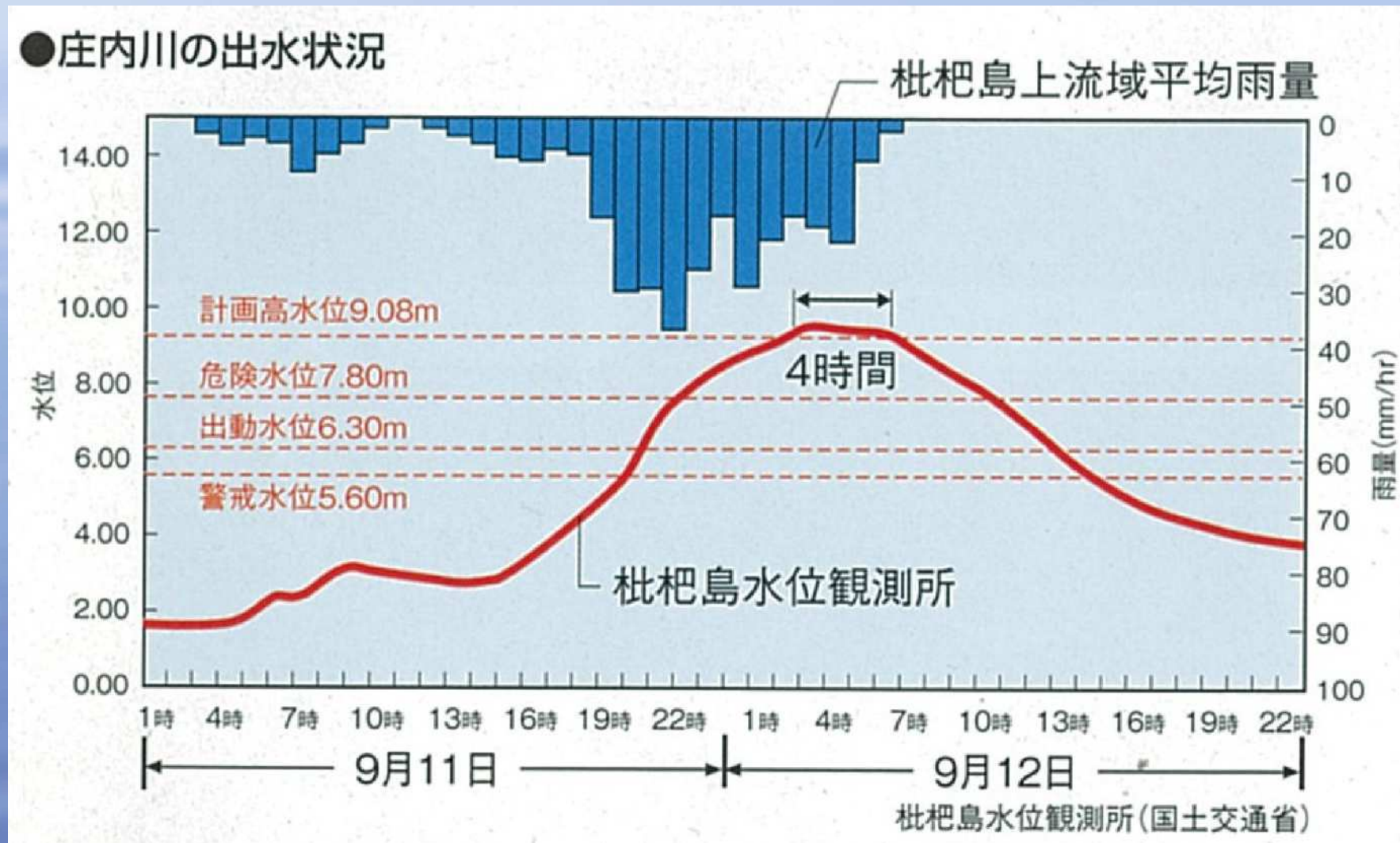


◆洗堰から新川への流入状況



洗堰を越流して新川に流入する庄内川の洪水

◆庄内川の出水状況（枇杷島）



◆庄内川出水状況

○出水状況

越水位置：河口から約4 km地点右岸（国道1号一色大橋下流）

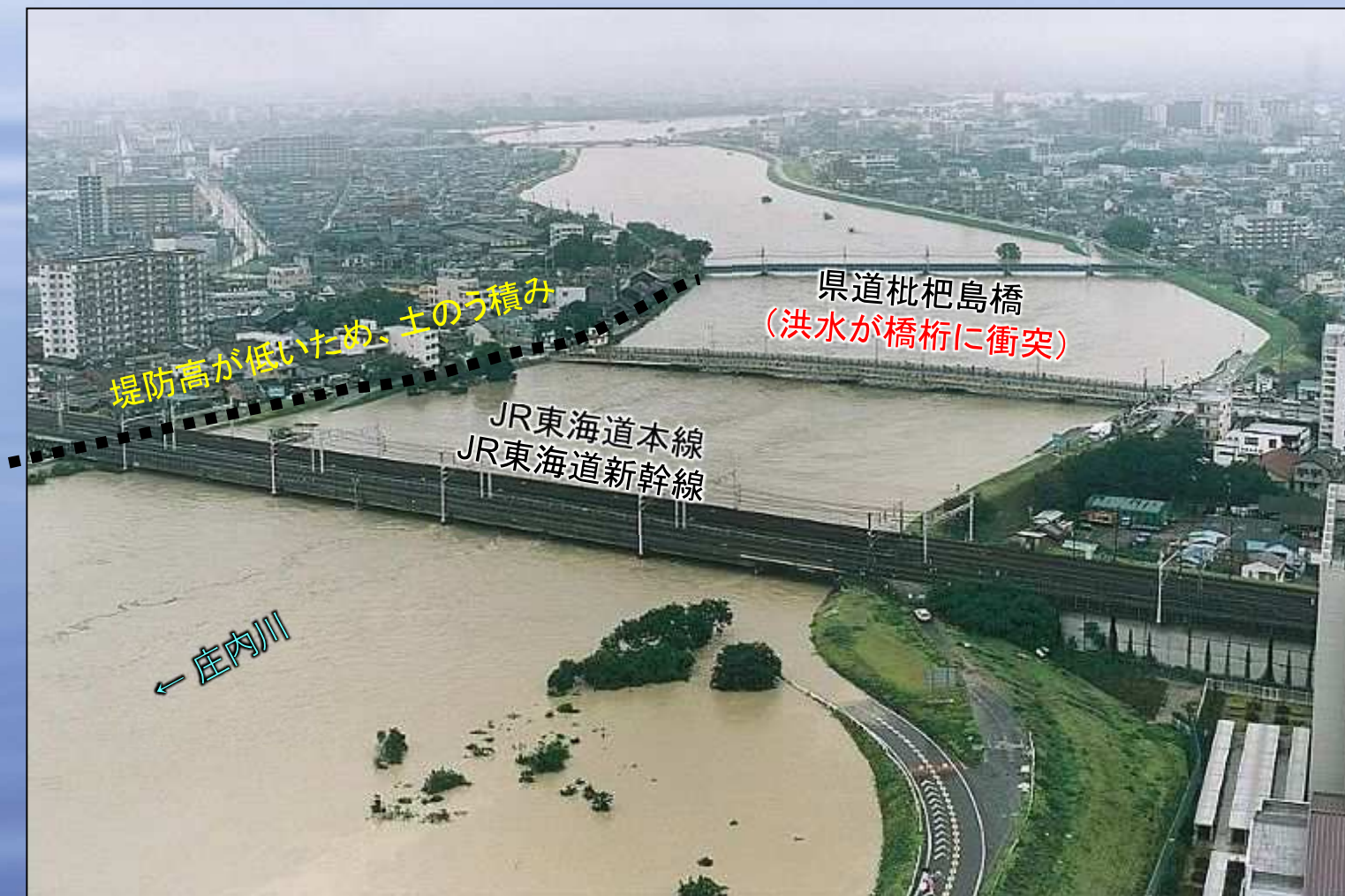


洪水流が一色大橋の橋桁に衝突している状況

◆庄内川出水状況

○出水状況

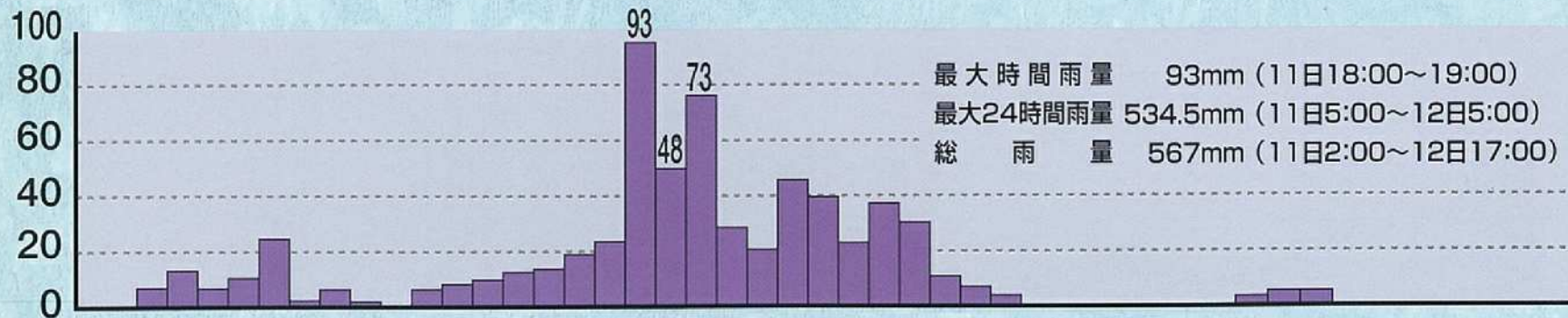
位置：河口から約14 km地点



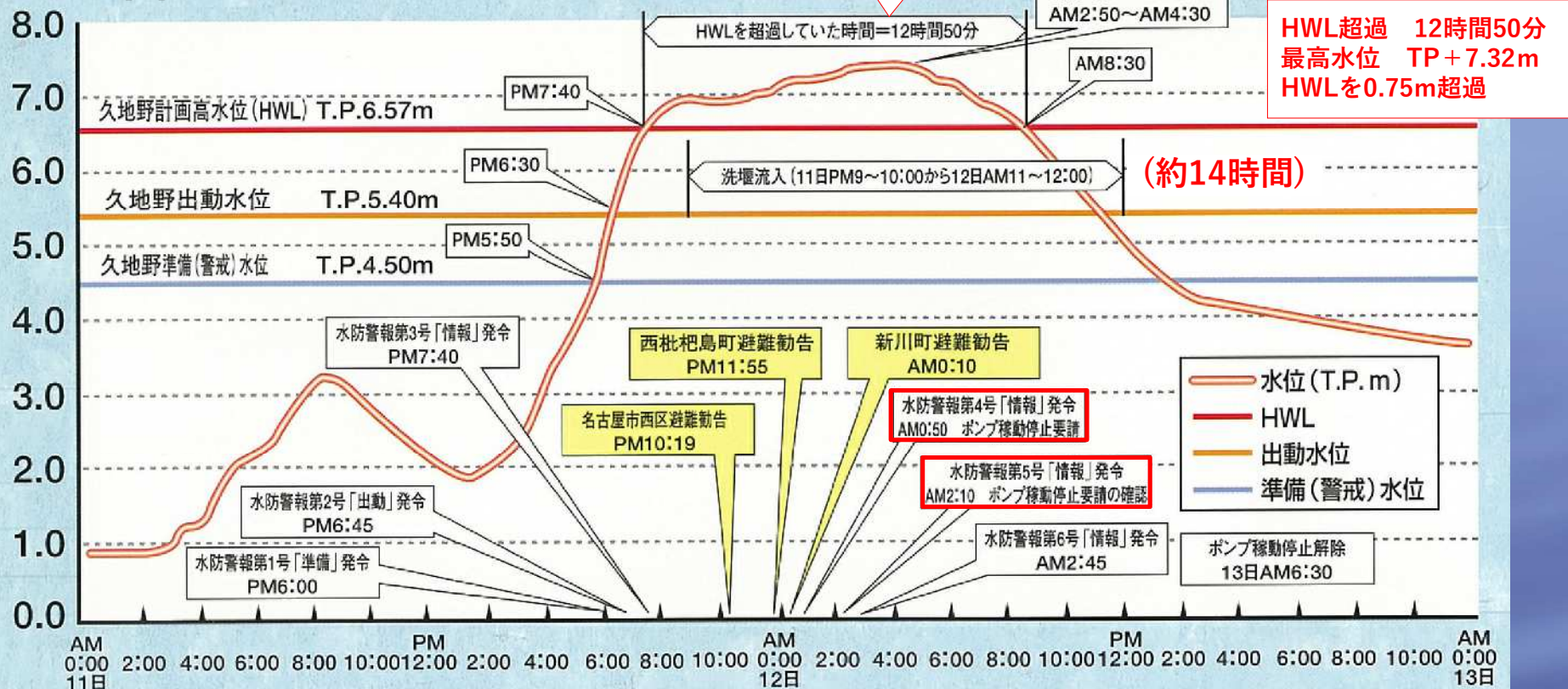
洪水流が県道枇杷島橋の橋桁に衝突している状況

◆新川の出水状況（久地野）

名古屋地方気象台雨量 [mm]



水位 [m] 久地野現況T.P.7.80m

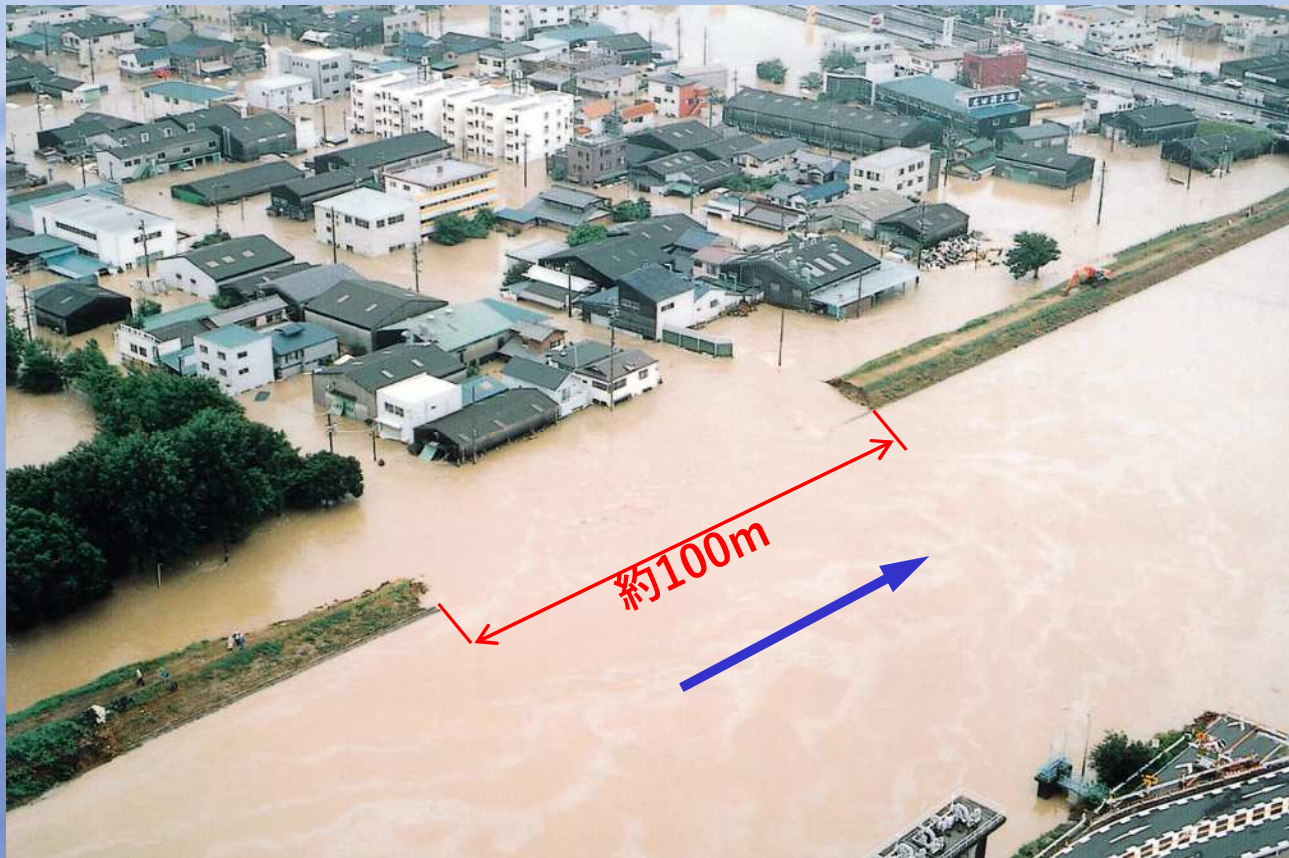


◆新川破堤状況

○堤防破堤状況

破堤位置：河口から約16km地点左岸

破堤延長：約100m



◆内水氾濫と外水氾濫の状況



東海豪雨から、マスコミでも「内水」という言葉が使われ始めた。

◆天白川の被害の状況



位置図



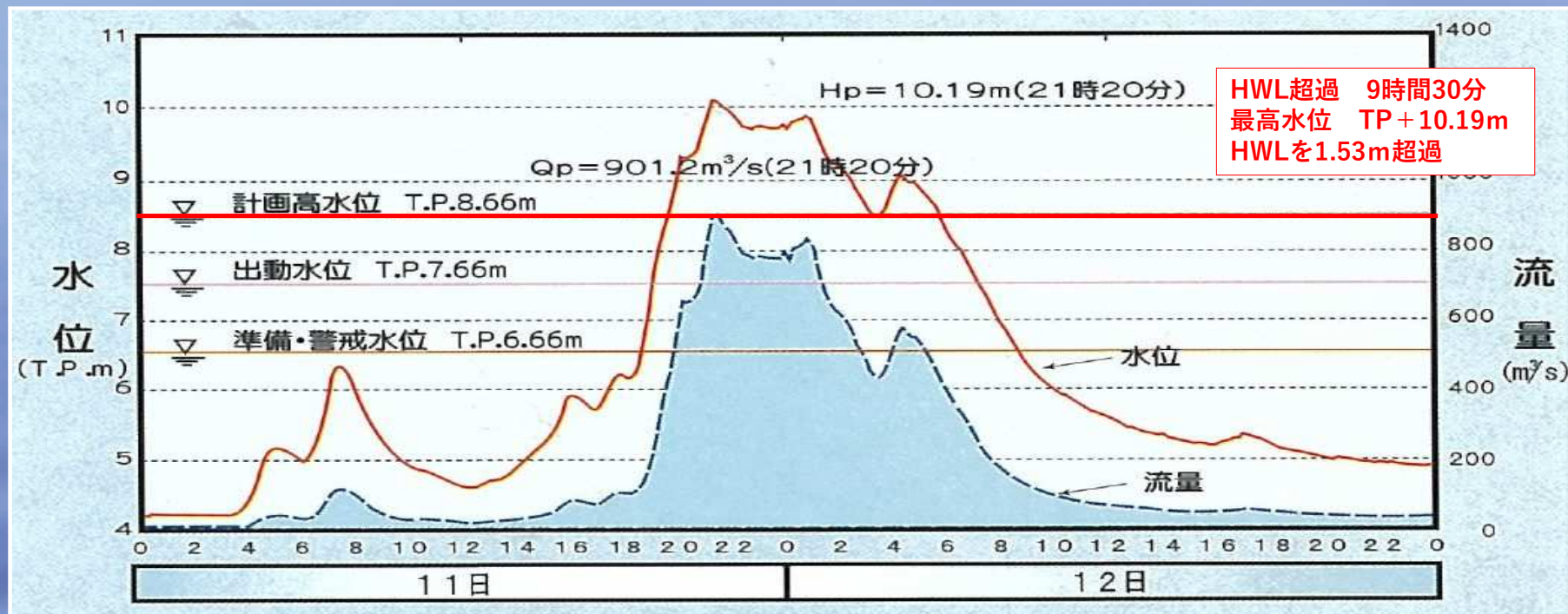
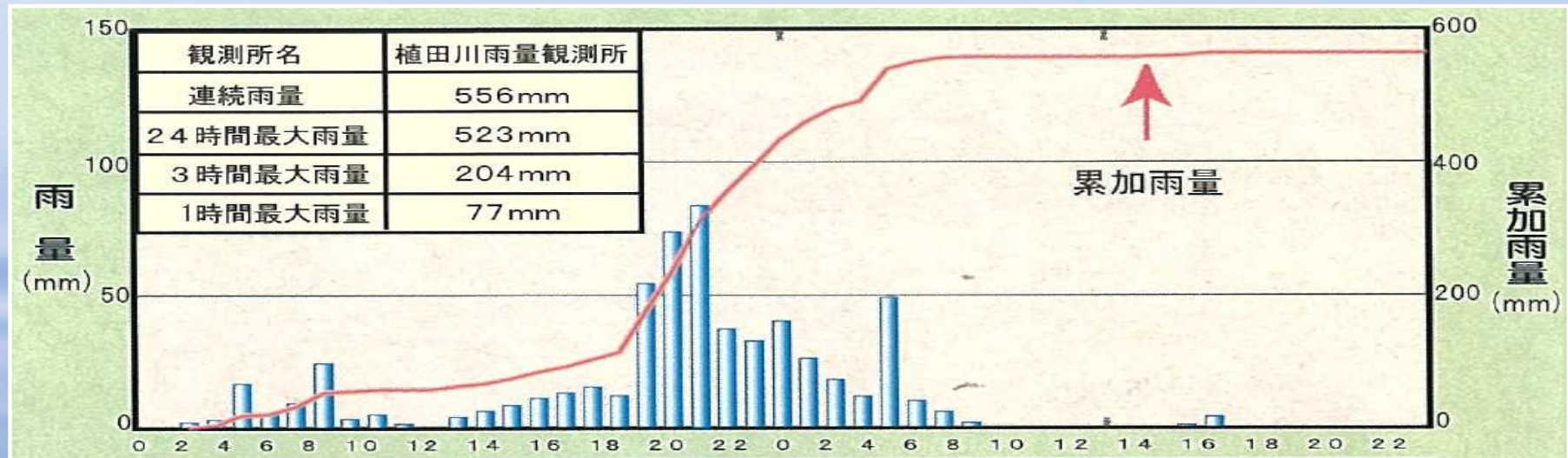
①浸水状況(野並橋付近)



②裏法の崩壊状況(名古屋市南区芝町)



◆天白川の出水状況（天白）



③被害と避難の状況

◆名鉄西枇杷島駅浸水状況



⑯洪水で水没した名鉄西枇杷島駅 12日午前9時50分（提供：中日新聞）



平常時

◆住民避難状況



自衛隊による救出活動
(清須市西枇杷島町)



冠水した道路を歩く人々
(清須市西枇杷島町)

◆交通等の停止状況

●鉄道の被災・復旧状況

交通機関被災状況	復旧された時刻・状況
【東海道旅客鉄道】 ・新幹線11日 16:50頃に運転抑止のため74本が翌日まで立ち往生 ・11日 13:00頃から各路線で随時規制 主な路線：東海道本線・中央線・関西線・武豊線等	12日 14:30頃、全区間運転再開 14日 16:30頃、全線運転再開
【名古屋鉄道】 ・11日 16:00頃から各路線で随時規制 主な路線：名鉄本線・犬山線・常滑線・三河線等	13日 22:45頃、全線運転再開
【近畿日本鉄道】 11日 14:00頃から名古屋線の一部で規制	12日 8:00頃、全線運転再開
【名古屋市交通局】 ・11日 19:55から各路線で随時規制 主な路線：名城線・鶴舞線・桜通線各路線の一部区間	13日15:00頃、全線運転再開
【その他の鉄道】 明智鉄道・伊勢鉄道・大井川鉄道・愛知環状鉄道・東海交通事業・名古屋臨海鉄道、の一部路線	14日、全鉄道運転再開
【市バス】 大雨の影響で各路線の50%が運転を見合わせる	17日12:00、全路線運転再開



豪雨で水浸しになった名鉄の車両
(清須市須ヶ口)

新幹線116本運休・124本遅延、名鉄の車両基地などが水没した。
道路・鉄道の被害は、市民生活への影響に加え、災害復興にも障害を与えた。

◆新川・天白川の被害実績（東海豪雨）

〈新川〉

浸水被害（実績）	
床上浸水戸数	約11,900戸
床下浸水戸数	約6,200戸
浸水面積	約1,900ha
想定被害額	約6,700億円

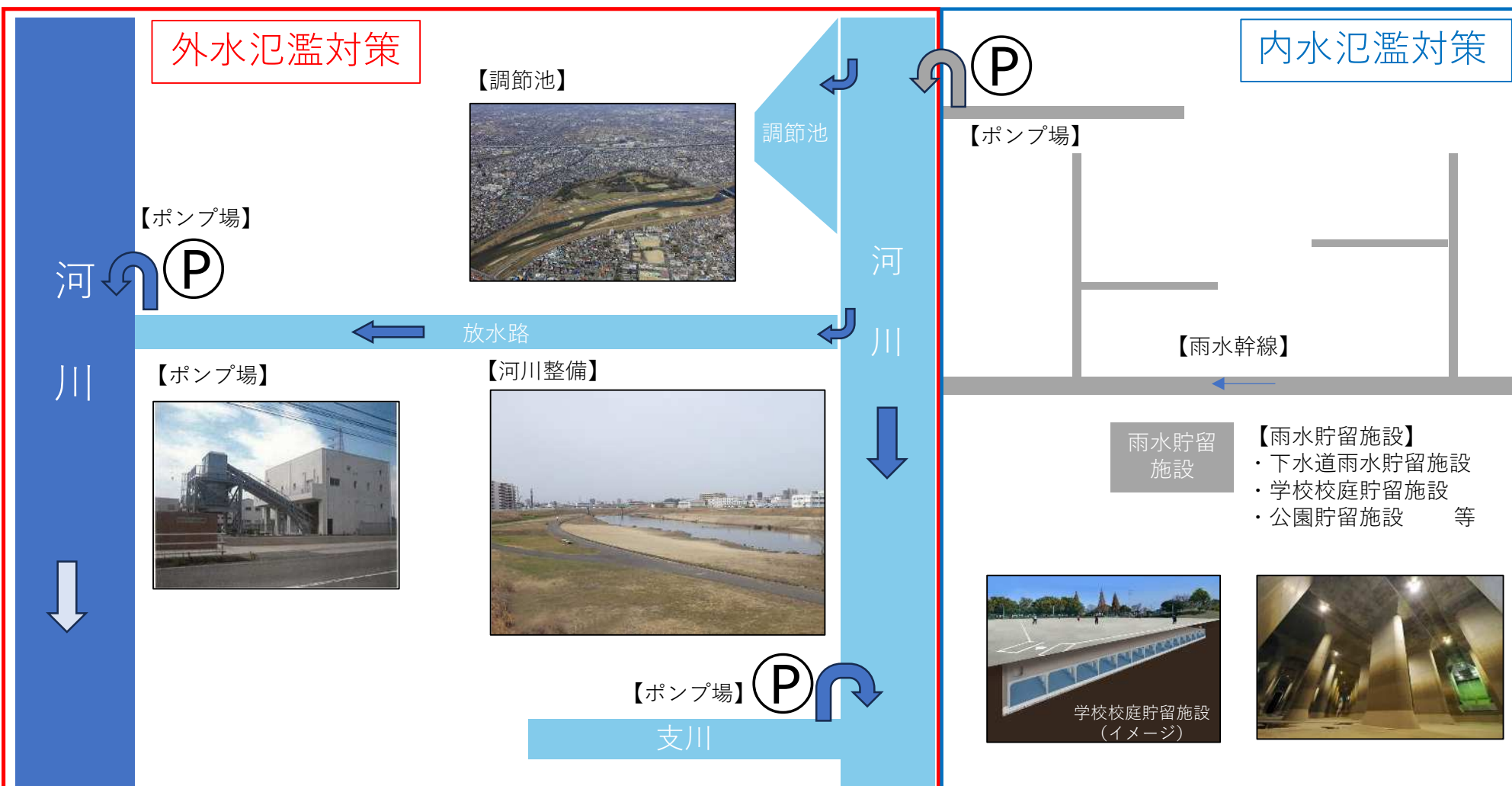
〈天白川〉

浸水被害（実績）	
床上浸水戸数	約3,800戸
床下浸水戸数	約4,400戸
浸水面積	約1,000ha
想定被害額	約3,500億円

※想定被害額は当時の試算によるもの

議題（２）東海豪雨後に進めてきた主な河川事業の概要

- ・ **外水氾濫対策**として、河川の拡幅や河床掘削のほか、洪水の一部を一時的に貯留する調節池、洪水の一部を他の河川へ排水する放水路の整備を実施している。
- ・ **内水氾濫対策**として、市町村では、下水道の雨水幹線の整備や、河川へ雨水を排水するポンプ場の整備、さらに、雨水を流域内に一時的に貯留する雨水貯留施設の整備を実施している。
- ・ **外水氾濫対策**として実施する河川整備により河川の流下能力を高め、河川水位の上昇を抑えることは、河川からの氾濫を防止・軽減するだけでなく、流域から河川へ雨水を排除しやすくするなど、内水被害の軽減に寄与するものである。



議題(2) 東海豪雨後に進めてきた河川事業の概要

国土交通省
中部地方整備局

東海豪雨後に進めてきた河川事業の概要(河川激甚災害特別緊急事業 庄内川)

- 庄内川では、東海豪雨と同規模の洪水が発生した場合でも被害を最小限に抑えるため、平成12年度から平成16年度にかけて、築堤、河道掘削、橋梁改築、新川洗堰の改築などの治水対策を緊急的に実施しました。

庄内川・新川河川激甚災害対策特別緊急事業の概要



事業対象区間	主な治水事業
庄内川 16.0km	堤防整備 13.6km
	河道掘削 140万m ³
	橋梁補強 4橋 ※国道1号一色大橋及び枇杷島狭窄部3橋は特定構造物改築事業により実施
	小田井遊水地の越流堤改良
	新川洗堰の嵩上げ
新川 21.8km	堤防整備 17.2km
	河道掘削 65万m ³
	橋梁補強 14橋 橋梁改築 7橋
	内水河川ポンプの増強 (水場川・鴨田川・中江川)
	遊水地整備

凡例	
—	築堤、堤防強化
—	河道掘削
—	遊水地
—	橋梁改築(架替)
—	橋梁補強
●	小田井遊水池 (越流堤の改築)
●	新川洗堰改築
●	内水河川ポンプ増設

※1 庄内川特定構造物改築事業(国道1号一色大橋) 平成12年~平成23年
 ※2 庄内川特定構造物改築事業(JR新幹線庄内川橋梁) 平成14年~令和13年

■庄内川の主な治水対策

庄内川における河道掘削(愛知県名古屋中川区)



庄内川における堤防整備(愛知県大治町)

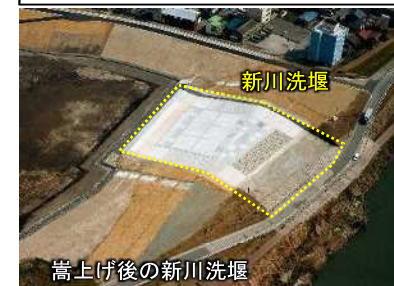


庄内川における橋梁改築(国道1号一色大橋)

桁下高が低く、橋脚数も多いため、洪水流下の阻害となっていた国道1号一色大橋は、平成12年から平成23年にかけて特定構造物改築事業により橋梁改築(架替)を実施。



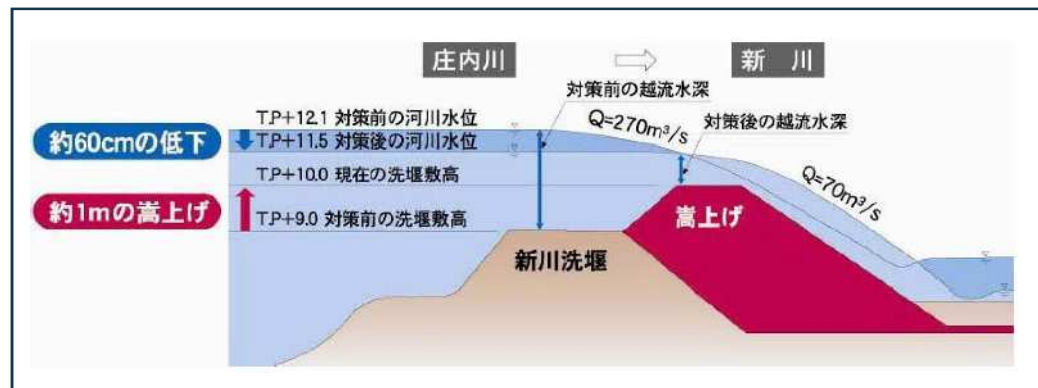
新川洗堰の嵩上げ



河道掘削により新川洗堰地点の水位を低下させるとともに、新川洗堰を1m嵩上げすることで、東海豪雨の洪水ピーク時には約270m³/sの越流量を約70m³/sへ低減。

東海豪雨後に進めてきた河川事業の概要(河川激甚災害特別緊急事業 庄内川)

- 河川激甚災害特別緊急事業では、新川洗堰を約1m嵩上げするとともに河道掘削を実施新川洗堰地点の水位を約60cm低下させました。その結果、東海豪雨と同規模の洪水が発生した場合の最大越流量を約 $270\text{m}^3/\text{s}$ から約 $70\text{m}^3/\text{s}$ まで減少させました。
- また、平成20年以降は河川整備計画に基づき東海豪雨と同規模の洪水が発生した場合でも、新川洗堰からの越流量が $0\text{m}^3/\text{s}$ となるように河川整備を進めています。



東海豪雨後に進めてきた河川事業の概要(河川激甚災害特別緊急事業 庄内川)

- 小田井遊水地の越流堤を約1.3m嵩上げすることにより、遊水地の容量を拡大させるなど、洪水調節機能を向上させることにより、東海豪雨と同規模の洪水が発生した場合の洪水調節流量を増加させました。



出典：庄内緑地グリーンプラザHP

- 小田井遊水地内は庄内緑地公園として、サイクリングコース、ポート池、テニスコート、陸上競技場、バーベキュー場等の施設が整備されており、都市公園としての側面を持つ多目的遊水地。
- 名古屋市営地下鉄鶴舞線の庄内緑地公園駅が庄内緑地内にある等、利便性も良く、年間120万人に利用されている。

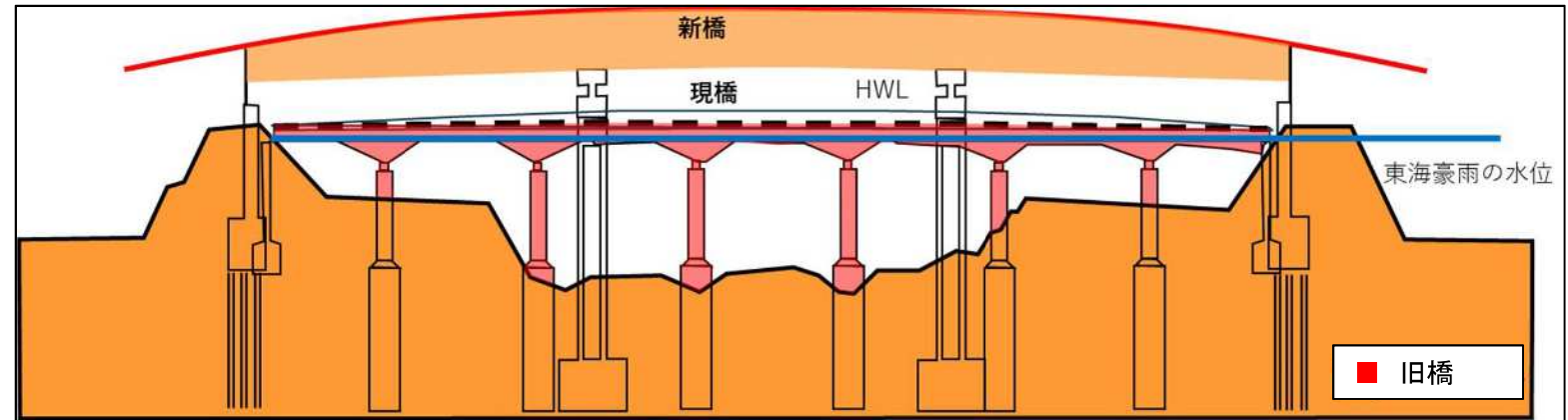


※バンテリンドームナゴヤ約0.8個分



東海豪雨後に進めてきた河川事業の概要(庄内川特定構造物改築事業 一色大橋)

- 国道1号一色大橋は、桁下高が低く橋脚数が多いことから洪水流下の阻害要因となっていたため、特定構造物改築事業により、平成12年度から平成23年度にかけて橋梁改築(架替)を実施しました。



東海豪雨の状況



架替後



架替前

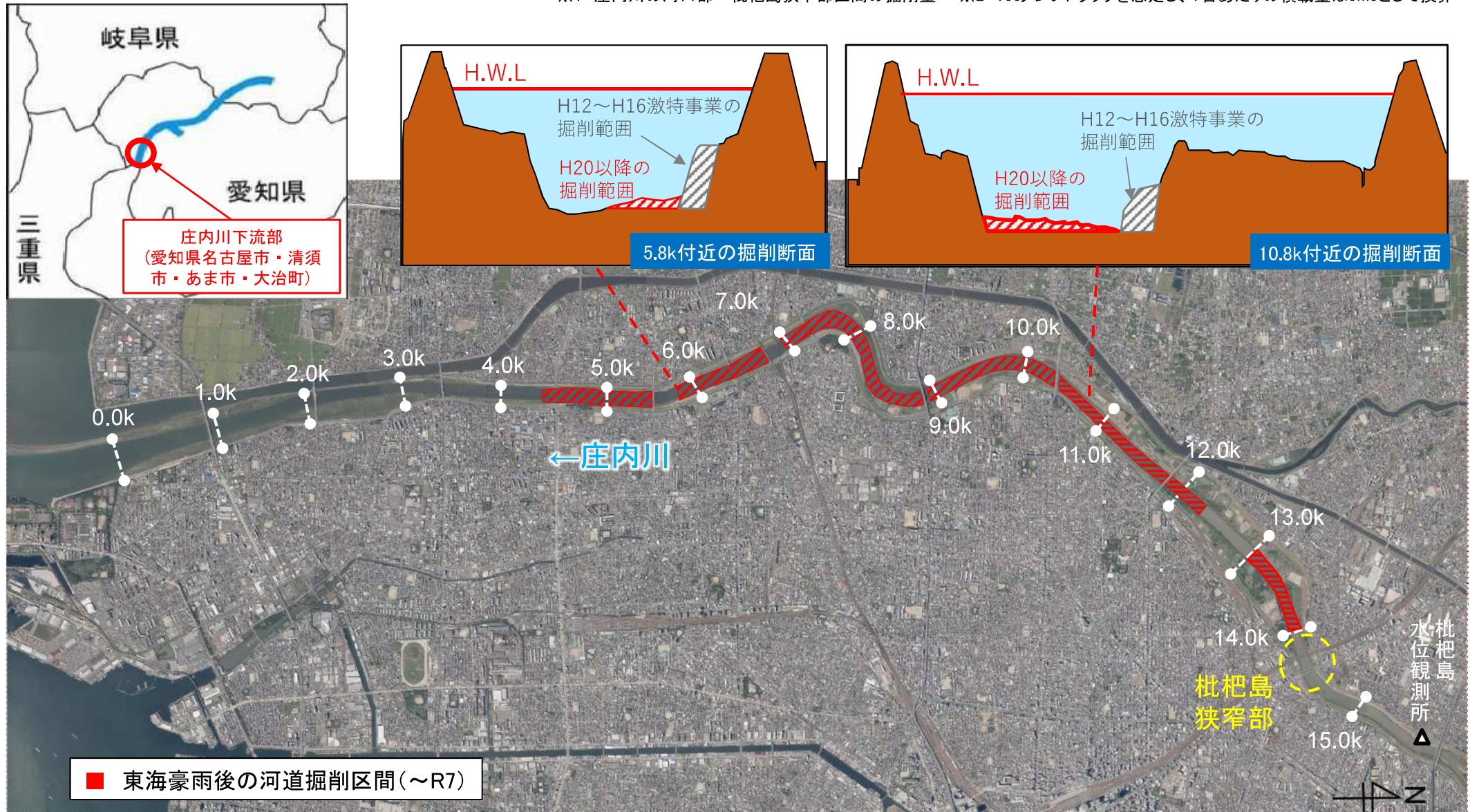


東海豪雨後に進めてきた河川事業の概要(庄内川 下流部の河道掘削)

- 庄内川の下流部では、平成20年3月の河川整備計画策定以降、洪水に対する流下能力向上のため、令和7年度までに約135万m³(10tダンプ約27万台分※)の河道掘削を実施しました。

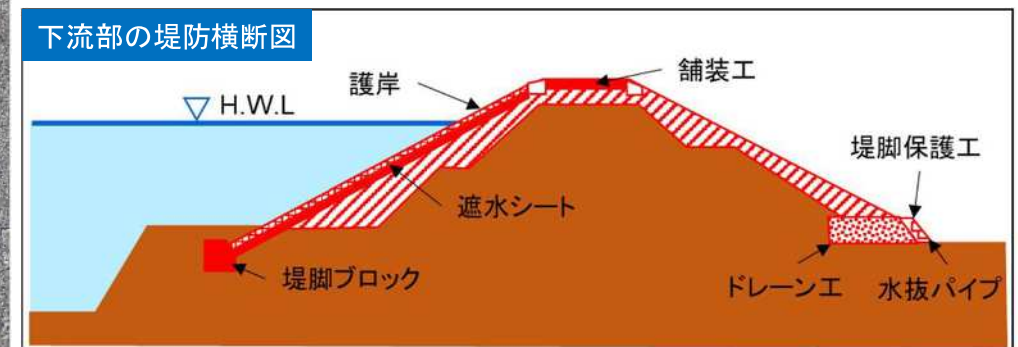
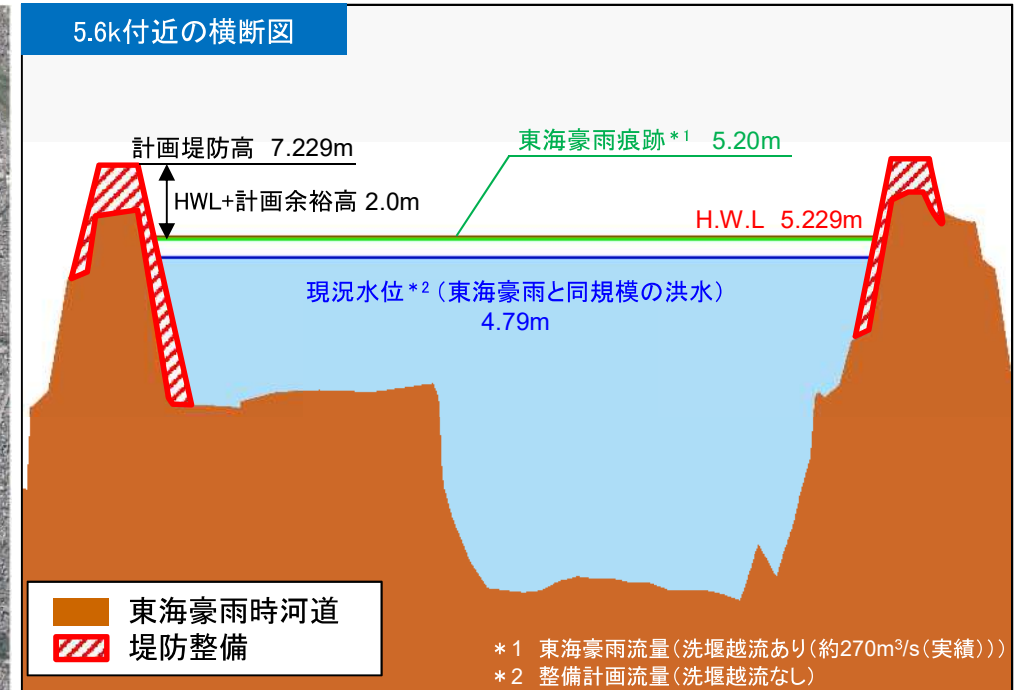
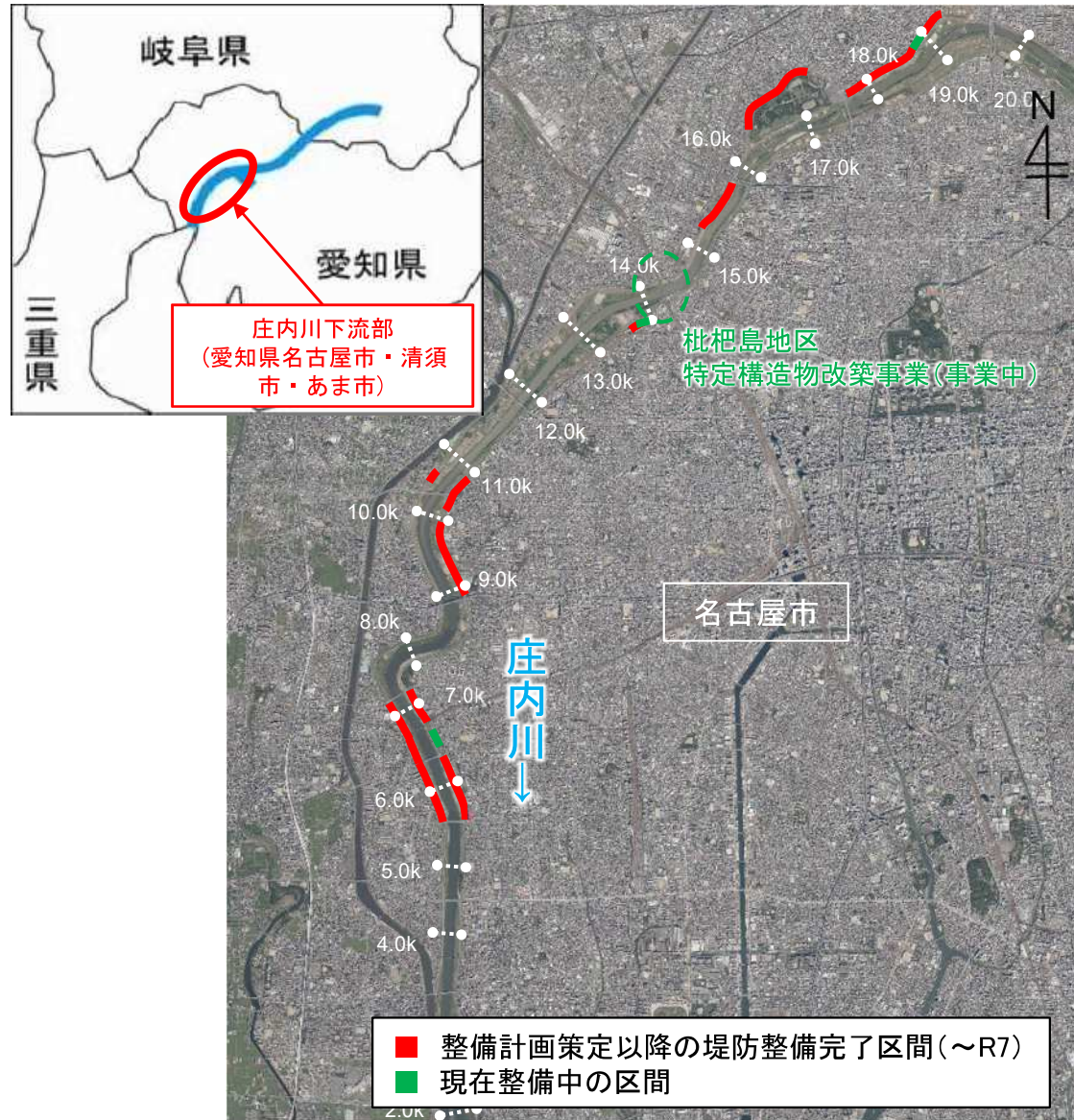
※1 庄内川の河口部～枇杷島狭窄部区間の掘削量

※2 10tダンプトラックを想定し、1台あたりの積載量は5m³として換算



東海豪雨後に進めてきた河川事業の概要(庄内川 下流部の堤防整備)

- 庄内川の下流部では、平成20年3月の河川整備計画策定以降、堤防の高さや幅の不足を解消し、洪水に対する堤防の安全性を向上させるため、令和7年度までに約9kmの堤防整備を実施しました。



議題（2）東海豪雨後に進めてきた主な河川事業の概要

愛 知 県

河川激甚災害対策特別緊急事業 新川 1 / 3

- ・新川における激特事業は、東海豪雨相当の降雨に対する外水氾濫の防止と内水氾濫被害の軽減を目的として、「河口から庄内川合流部までの21.8km」を事業区間とし、堤防強化、河床掘削、橋梁改築、遊水地整備、河川ポンプの増強、防災情報システムなどを実施した。
- ・本事業は2000年度から2004年度までの5年間で実施し、久地野観測所地点（20.1km地点）における流下能力を「 $510\text{m}^3/\text{s}$ から $600\text{m}^3/\text{s}$ （約17%増）」に向上させた。

◆新川激特事業の概要



施 工 前



比良新橋付近 (19K800)

施 工 後



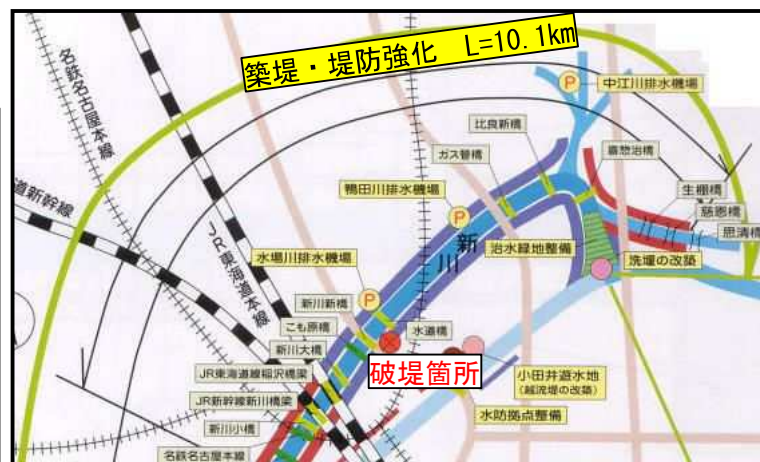
事業費約316億円

①	築堤・堤防強化	L=10.1km 浸透対策・越水対策
②	河床掘削	V=84万 m^3 掘削深最大約1.9m、平均0.9m
③	橋梁の改築と補強	改築7橋、補強11橋
④	遊水地（治水緑地）整備	V=55万 m^3 貯留
⑤	河川ポンプ増強	水場川・鴨田川・中江川（ $60.5\text{m}^3/\text{s}$ → $90\text{m}^3/\text{s}$ ）
⑥	防災情報システムの整備	河川カメラ、水位計、光ファイバ等

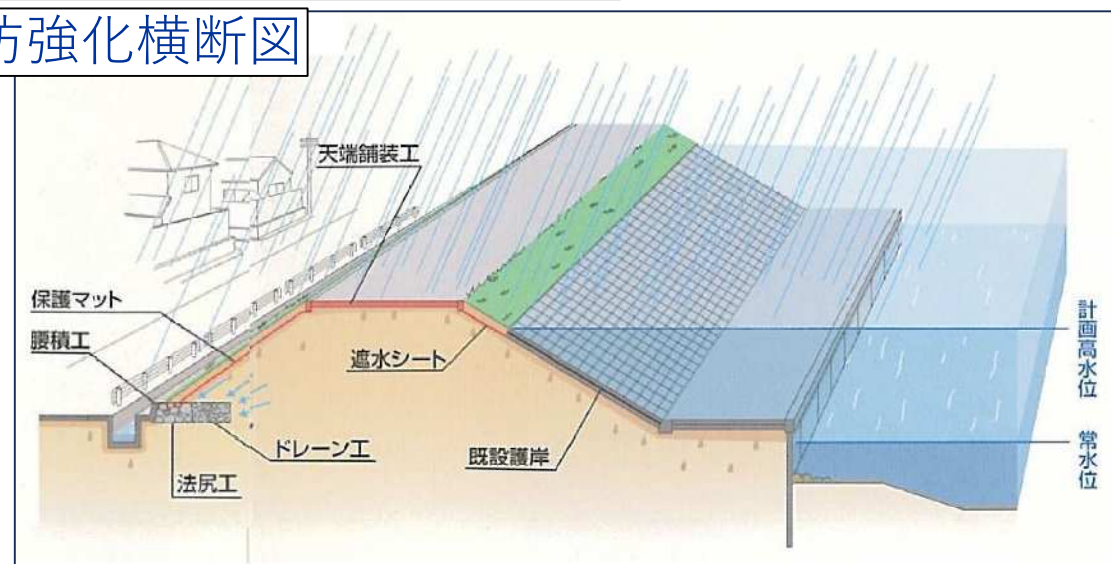
河川激甚災害対策特別緊急事業 新川 2/3

- ・ 東海豪雨時、新川では、河口から約16km地点の名古屋市西区地内において、左岸堤防が約100mにわたり破堤し、深刻な浸水被害が発生した。
- ・ このため、東海豪雨の再現水位が計画高水位を大きく上回った区間を対象に、計画高水位を超える洪水に対しても破堤しにくい堤防とするため、延長10.1kmにわたり堤防強化を実施した。
- ・ この堤防強化では、降雨や河川水の堤体への浸透を抑制するとともに、浸透した水を速やかに排出し、万が一越水した場合にも急激な破堤を防ぐ構造とした。

◆新川堤防強化の概要

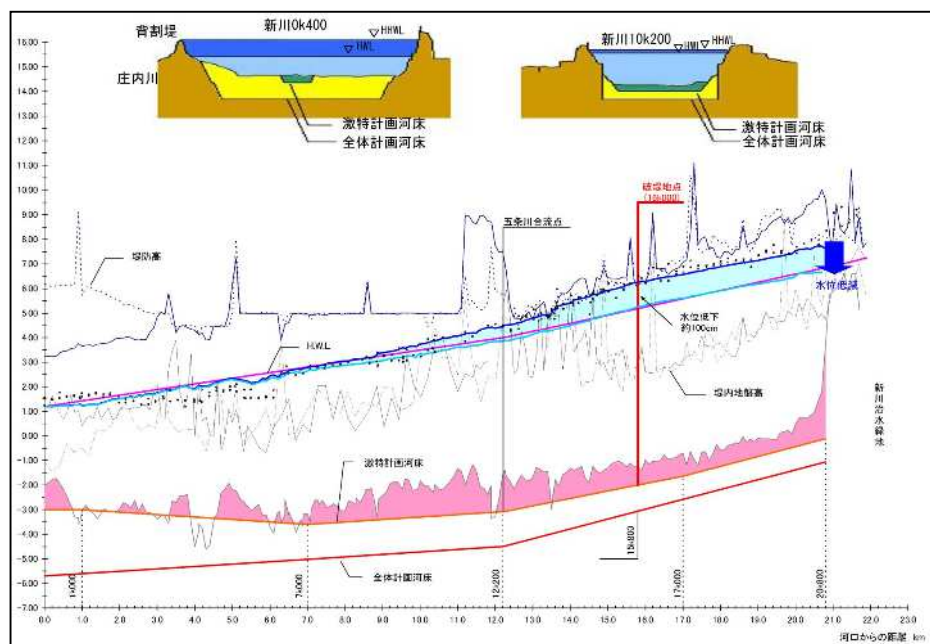


堤防強化横断図



河川激甚災害対策特別緊急事業 新川 3/3

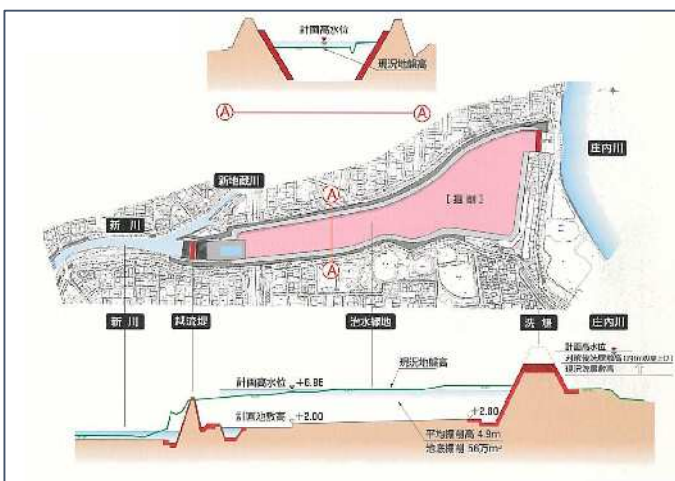
- ・新川は都市河川であり、沿川は人家が連坦しているため、最も効果的に河道の流下能力を向上させる手段として、全川にわたり河床掘削を実施した。（掘削深：最大1.9m、掘削量：約84万 m^3 ）
- ・また、洪水を一時貯留して新川本川を流下する流量を低減させる遊水地（治水緑地）を新川最上流部に整備した。（面積：約18ha、貯留量：約55万 m^3 ）
- ・その他、橋梁改築及び河川ポンプ増強（60.5 $\text{m}^3/\text{s} \rightarrow 90 \text{ m}^3/\text{s}$ ）などにより、流下能力を向上させた。



河床掘削



橋梁改築



遊水地（治水緑地）整備

新川激特事業の河道縦断図

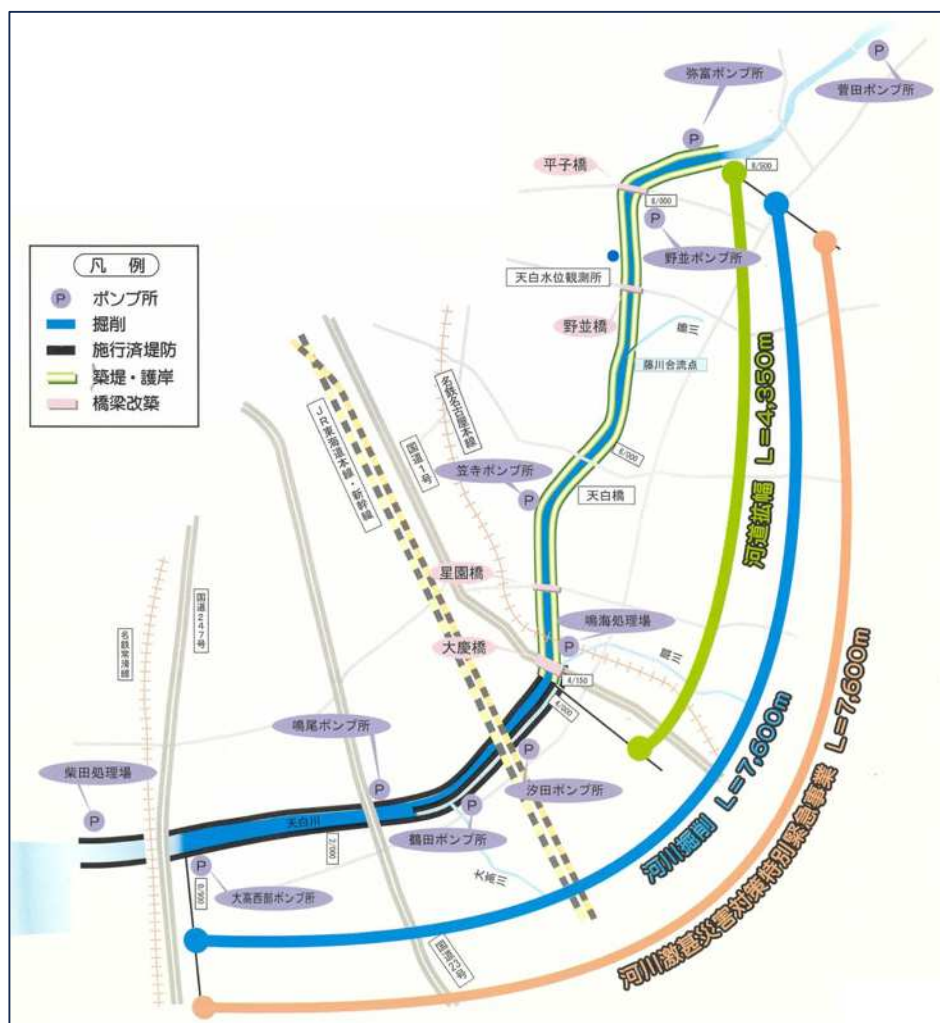
排水機場名	増強前	増強後
水場川排水機場	30.0 m^3/s	40.0 m^3/s
鴨田川排水機場	12.5 m^3/s	25.0 m^3/s
中江川排水機場	18.0 m^3/s	25.0 m^3/s

河川ポンプ増強

河川激甚災害対策特別緊急事業 天白川 1/2

- ・天白川における激特事業は、東海豪雨相当の降雨に対する外水氾濫の防止と内水氾濫被害の軽減を目的として、「OK 900から浸水実績区域の最上流地点の8K500までの7.6km」を事業区間とし、河道拡幅、河床掘削、橋梁改築、防災情報システムなどを実施した。
- ・本事業は2000年度から2004年度までの5年間で実施し、天白川観測所地点（7.4km地点）における流下能力を「 $750\text{m}^3/\text{s}$ から $920\text{m}^3/\text{s}$ （約23%増）」に向上させた。

◆天白川激特事業の概要



施工前



星の宮人道橋付近（5K100）

施工後

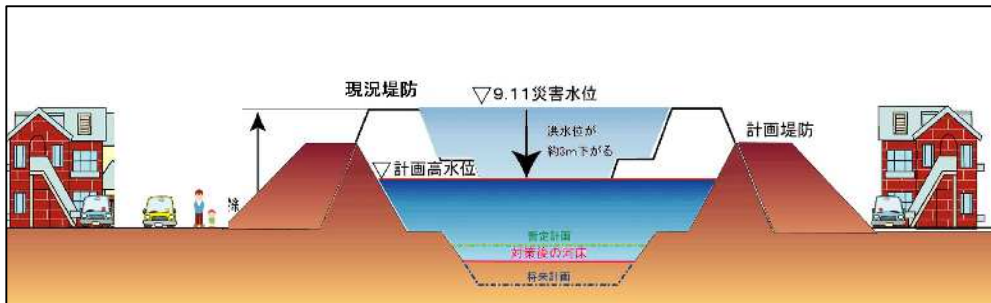


事業費約282億円

①	河道拡幅	L=4,350m
②	堤防強化	L=8,700m 築堤・護岸
③	河床掘削	V=130万 m^3 掘削深最大約3.0m、平均2.5m
④	橋梁改築	4橋（大慶橋、星園橋、野並橋、平子橋）
⑤	防災情報システムの整備	河川カメラ、水位計、光ファイバ等

河川激甚災害対策特別緊急事業 天白川 2/2

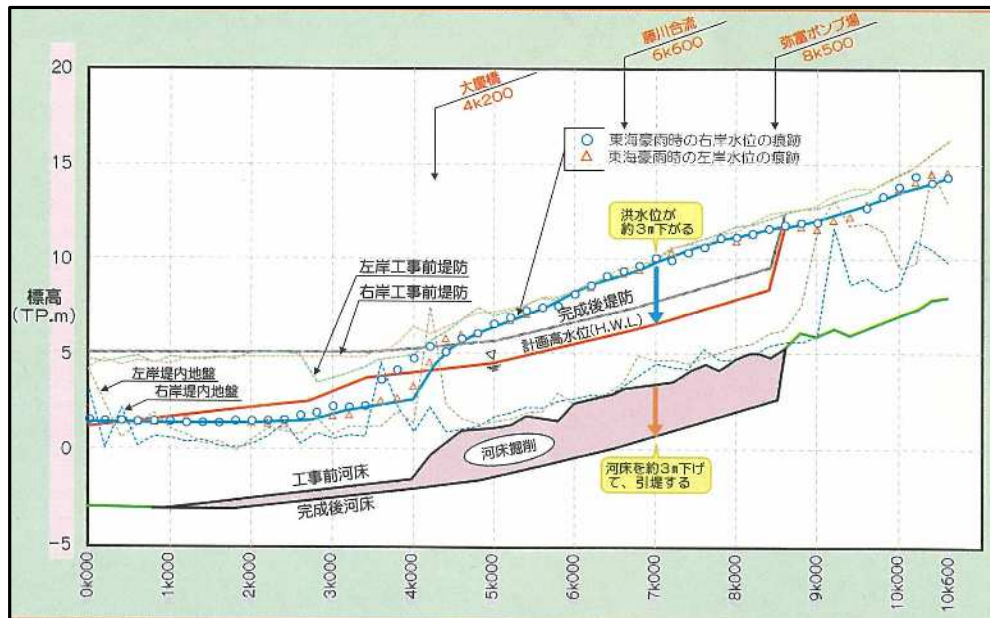
- ・ 東海豪雨時には、天白川の水位が2階建て家屋の屋根付近まで上昇したが、引堤や河床掘削による河道拡幅により天井川の状態を解消し、東海豪雨時と比べて水位を最大約3m低下させるなど、流下能力を大幅に向上させた。
- ・ また、堤防天端の舗装や堤脚部のドレーン工などの浸透対策により、計画高水位を超える洪水に対しても破堤しにくい堤防へ強化した。



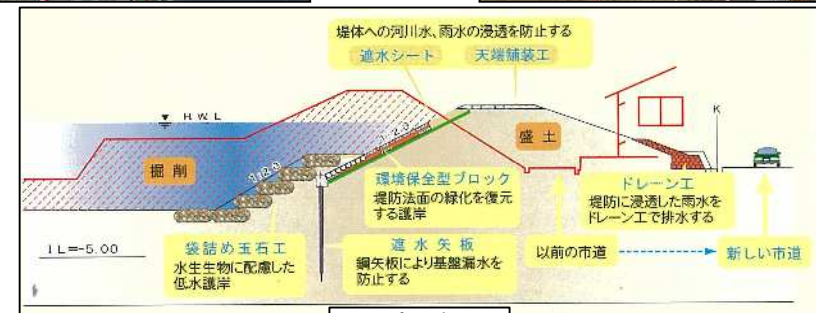
河道改修による水位の低下



河床掘削



河川計画縦断図



堤防強化

東海豪雨後に進めてきた河川事業の概要（事業費）

- ・東海豪雨以降、県では、190河川に総事業費約8000億円を投じ、河道拡幅や河道掘削、放水路、調節池などの河川整備を着実に進めてきており、今回の大雨においても、これらの整備が大きな効果を発揮した。
- ・現在も、さらなる治水安全度の向上に向け、日光川2号放水路や柳生川地下河川、菱池遊水地、大山川調節池など、大規模な河川施設を始めとした河川事業を進めている。

県管理河川の整備内容（2000～2026年度）

河川数	190河川
事業内容	河道拡幅、河道掘削、放水路、調節池、橋梁改築 等
総事業費	7,994億円



東海豪雨以降に供用した主な大規模河川施設

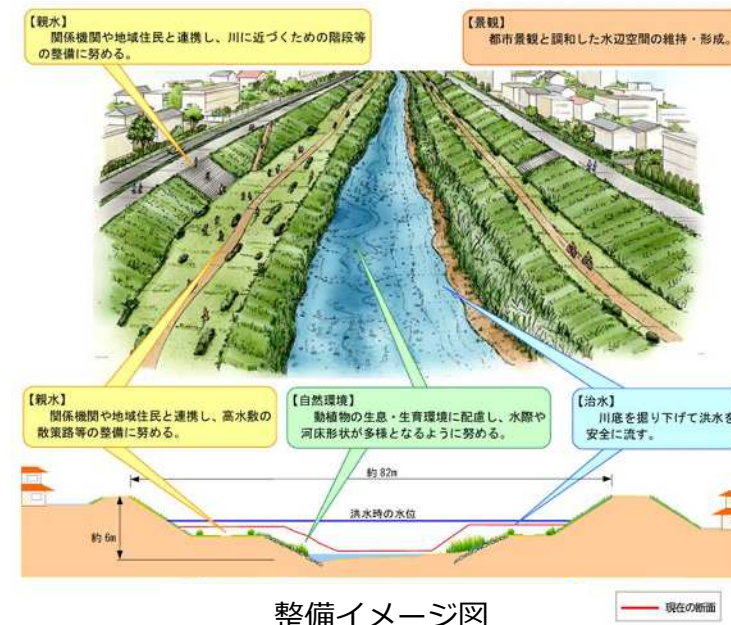
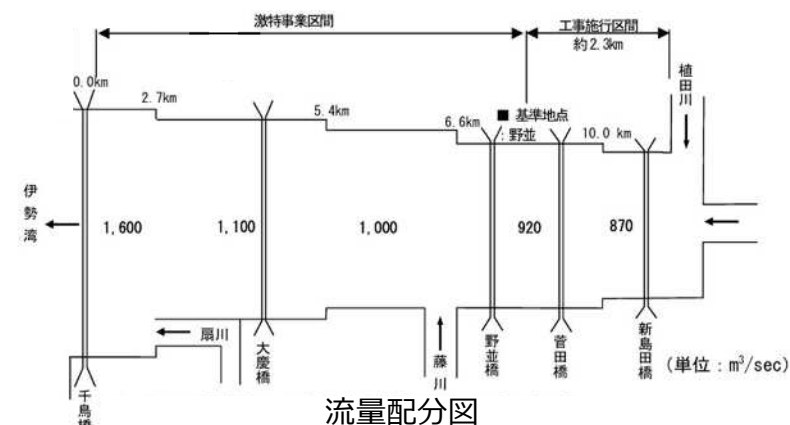
河川名	施設名	供用年度	事業費(※)
日光川水系 日光川	日光川祖父江放水路	2008	約118億円
日光川水系 日光川	日光川玉野放水路	2010	約57億円
日光川水系 日光川	日光川水閘門	2017	約175億円 (旧施設撤去費除く)
庄内川水系 八田川・地蔵川	地蔵川排水機場	2023	約51億円
庄内川水系 青木川	青木川放水路 (全川供用)	2024	約355億円

※東海豪雨以前を含む

現在事業中の主な大規模河川施設

河川名	施設名	事業期間（予定）	事業費（予定）
日光川水系 野府川	日光川2号放水路	2020～ 2030年度	約136億円
柳生川水系 柳生川	柳生川地下河川	2019～ 2029年度	約159億円
矢作川水系 広田川	菱池遊水地	2019～ 2026年度	約58億円
庄内川水系 大山川	大山川調節池	2021～ 2027年度	約100億円

- 整備状況



-

西中野排水機場 $Q=55\text{m}^3/\text{s}$ 

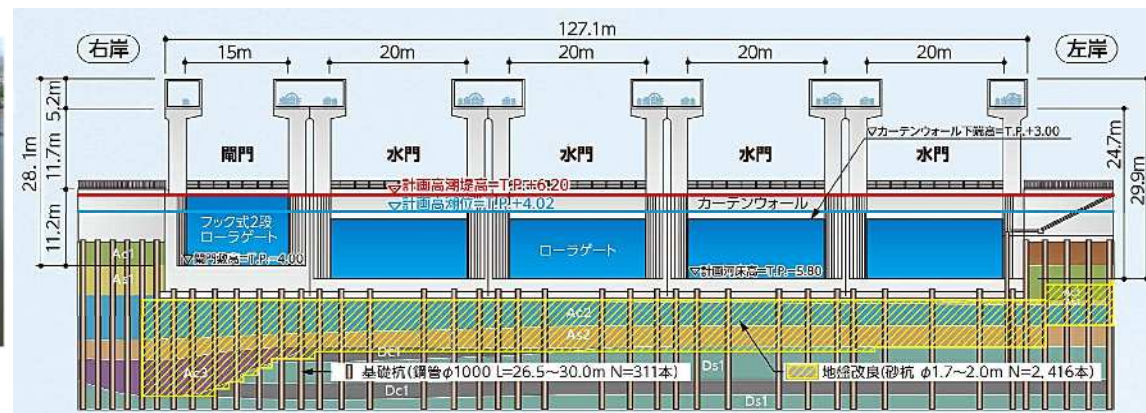
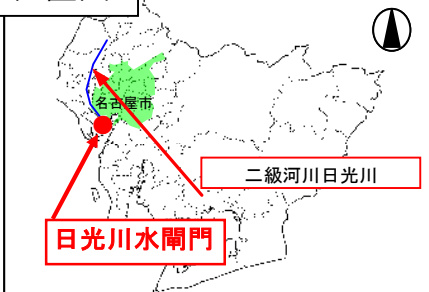
玉野放水路函体



東海豪雨後に進めてきた河川事業の概要（③日光川水閘門）

- ・当施設は、伊勢湾台風復旧事業により築造後50年が経過し、老朽化の進行や地盤沈下などにより洪水や高潮に対する機能が低下するとともに、大規模地震に対する耐震性が不足しており、地震後に来襲する津波を防ぎきれない可能性がある。
- ・このため、機能不全要因を解消し、流域を洪水や高潮及び地震・津波の被害から守るため、新水閘門の改築を進め、2018年3月に完成。
- ・新水閘門の底版を将来計画河床高に合わせ、旧水閘門を撤去することにより、河道の流下能力不足を解消。

位置図

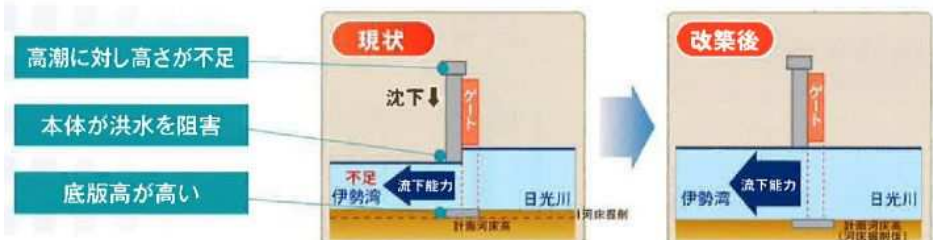


事業期間：～2018年度

事業費：約175億円（旧施設撤去費用除く）

事業実施による機能不全解消

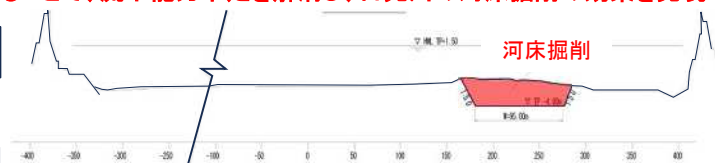
○高潮に対する高さ不足を解消



○将来予想される洪水に対する排水能力の確保

- ・新水閘門の底版を将来計画河床高とし、年超過確率1/100の洪水を流しうる断面を確保
- ・旧水閘門を撤去することで、流下能力不足を解消し、日光川の河床掘削の効果を発現

河床掘削横断面図



河床掘削平面図



東海豪雨後に進めてきた河川事業の概要（④青木川放水路）

- 青木川、般若川、昭和川、奈良子川は新川流域の上流部に位置し、沿川の都市化が進んでいるが、河川は下流から順次改修する必要があるため、上流部の河川を改修するまでに時間を要する。
- 早期に上流部の浸水被害を軽減するため、これらの河川の水の一部を貯める調節池・分水池や、木曽川へ放流する放水路と排水機場を設置する「青木川放水路事業」を進め、2024年4月から全区間の供用を開始。

位置図



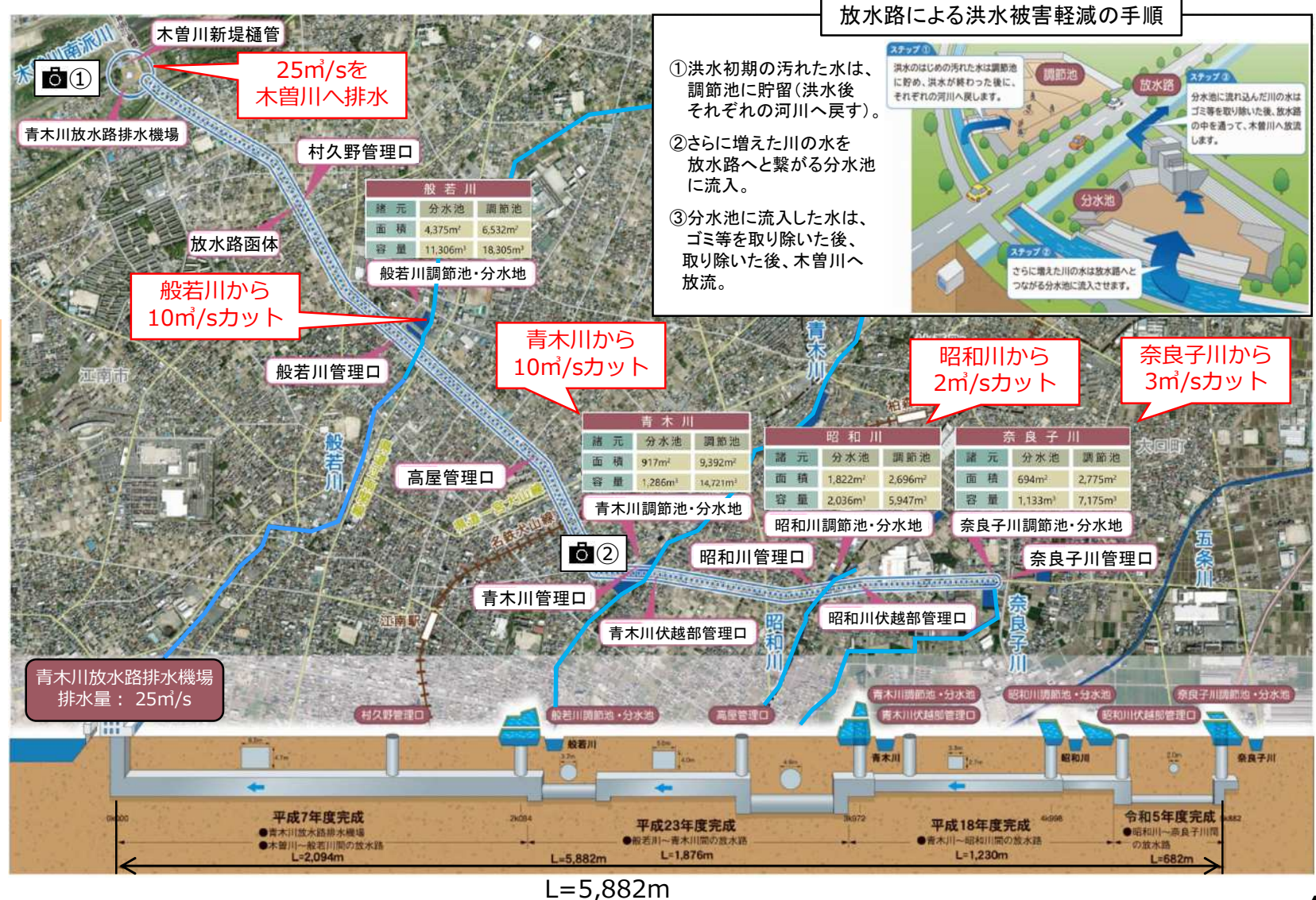
事業期間：1981～2024年度
 事業費：約355億円
 設備概要：青木川放水路 L=5.9km
 青木川放水路排水機場 Q=25m³/s



青木川放水路排水機場



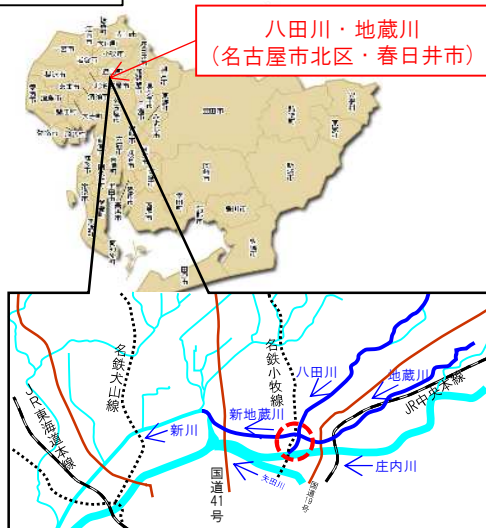
青木川調節池



東海豪雨後に進めてきた河川事業の概要（⑤八田川・地蔵川）

- ・2011年9月の台風15号に伴う豪雨により、庄内川は東海豪雨を上回る出水となり、そのバックウォーターにより、八田川で越水が生じ、八田川と立体交差する地蔵川の溢水と合わせて、床上浸水217戸、床下浸水183戸の家屋浸水被害が生じた。
- ・これを受け、同規模の洪水による床上浸水の解消を目的に、八田川の河道整備、橋梁改築を行うとともに、地蔵川排水機場を新たに整備し、2023年6月から供用を開始。

位置図



浸水被害と整備内容



整備後



【事業概要】

事業期間：2017年～2023年

事業費：96億円

事業内容：[地蔵川]地蔵川排水機場整備
[八田川]河川改修、橋梁改築

整備効果



※ 浸水深の表示は、再現計算の結果を表示したもので浸水実績とは若干異なる場合があります。



※1：流速が速い場合には浸水深が20cm程度でも歩行が困難な場合があります。
 ※2：歩ける浸水深は、大人男性で約70cm、大人女性で約50cm、小学5～6年生では約20cmまで。
 ※3：特に50cm以上の浸水深における避難行動は危険。



地蔵川排水機場

東海豪雨後に進めてきた河川事業の概要（⑥調節池、狭窄部解消）

- 東海豪雨後も調節池の整備、河川の狭窄部の解消を推進
- 東海豪雨後に整備した調節池は9施設、貯水容量計約102万 m^3

国道22号橋梁改築（日光川）
【2024年度】

名鉄津島線橋梁改築（五条川）
【2013年度】

法界門堰撤去（五条川）
【2014年】



水道橋改築（福田川）
【2020年度】

日光橋改築（日光川）
【2007年度】

日光大橋改築（日光川）
【2018年度】

旧日光川水閘門の撤去（日光川）
【2024年度】※床版部分を除く

【解消した主な狭窄部凡例】

事業概要（河川名）
【完了年度】

高雄調節池（24,700 m^3 ）
【2003年】

奈良子川分水池（1,162 m^3 ）
【2023年】

青木川第4調節池
（24,400 m^3 ）【2023年】



青木川第3調節池
（12,600 m^3 ）【2019年】

中江川調節池（58,000 m^3 ）
【2020年】

水場川調節池（12,840 m^3 ）
【2025年】

新川治水緑地（550,000 m^2 ）
【2005年】

森遊水池（232,000 m^3 ）
【2001年】

五条川調節池（107,000 m^3 ）
【2004年】

【遊水地・調節池凡例】

施設名（貯留量）
【完成年】

議題（３） ９月８日大雨の降雨と被害状況

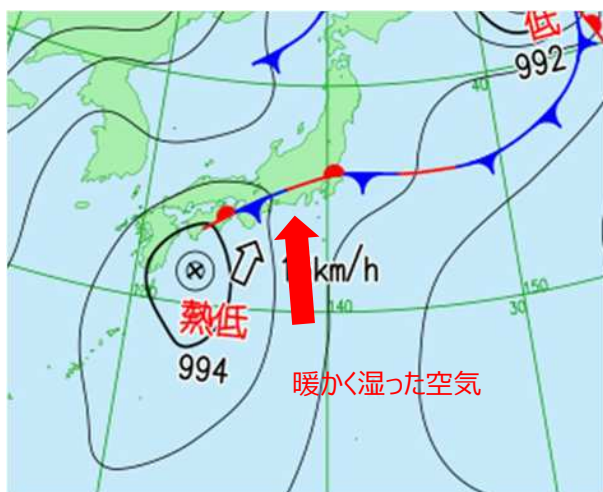
令和8年9月30日
令和8年9月大雨に対する河川整備事業効果検証会議

令和8年9月8日の 愛知県の大雨等の状況

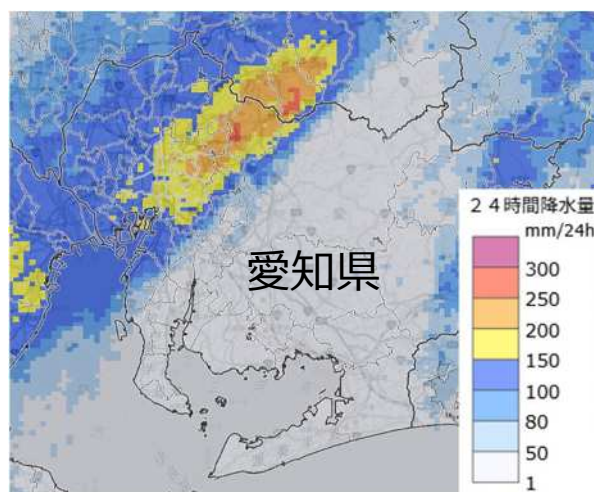
名古屋地方気象台

令和8年9月8日の愛知県の大雨の状況

- 9月8日は、四国の南にある台風第24号から変わった熱帯低気圧の東側の暖かく湿った空気が本州の南岸付近に停滞した前線に向かって流れ込み、前線の活動が活発になった。愛知県では8日夕方に線状降水帯が発生した。
- 8日16時から18時頃にかけて尾張東部を中心に猛烈な雨が降り、名古屋では16時53分までの1時間に104.5ミリの降水量を観測し1890年の観測開始からの1位を更新した。また、解析雨量では、尾張東部の多いところでは、8日18時までの3時間降水量が約250ミリとなった。
- この大雨により、尾張西部、尾張東部の一部の市町にレベル4大雨危険警報、レベル4土砂災害危険警報を発表した。河川に対しては、矢田川の瀬古基準観測所（名古屋市守山区）で氾濫発生水位に達したため庄内川レベル5氾濫特別警報を発表したほか、愛知県天白川水系天白川レベル4氾濫危険警報などを発表した。



地上天気図
9月8日18時



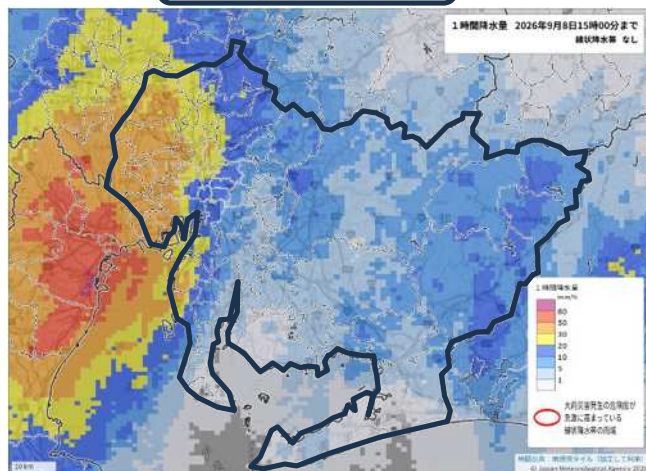
解析雨量による9月8日24時
までの24時間降水量



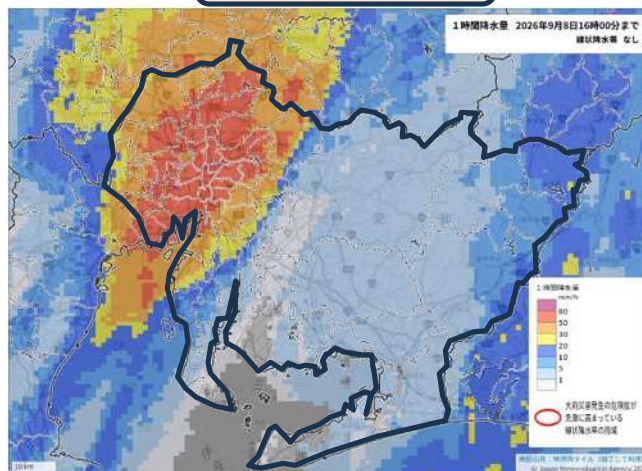
名古屋の9月8日の
降水量の推移

令和8年9月8日15時から20時までの解析雨量による1時間降水量

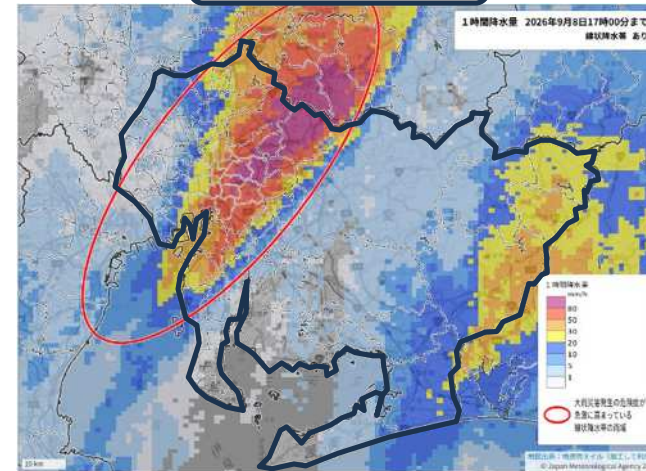
8日15時



8日16時

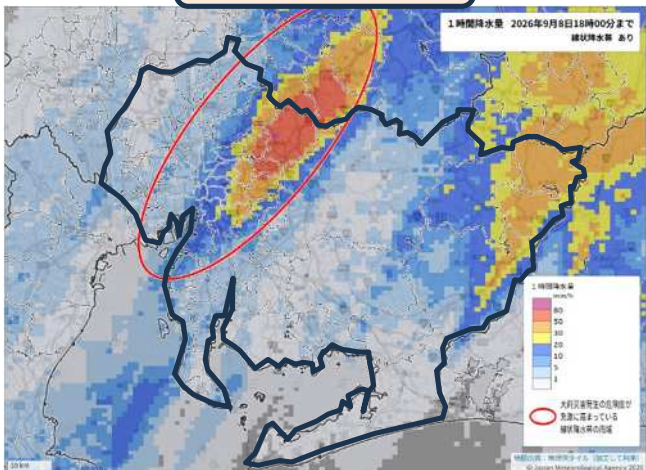


8日17時

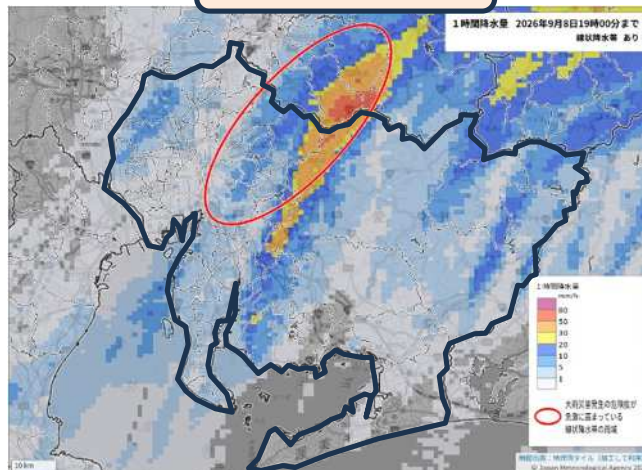


気象防災速報（線状降水帯発生）16時28分発表

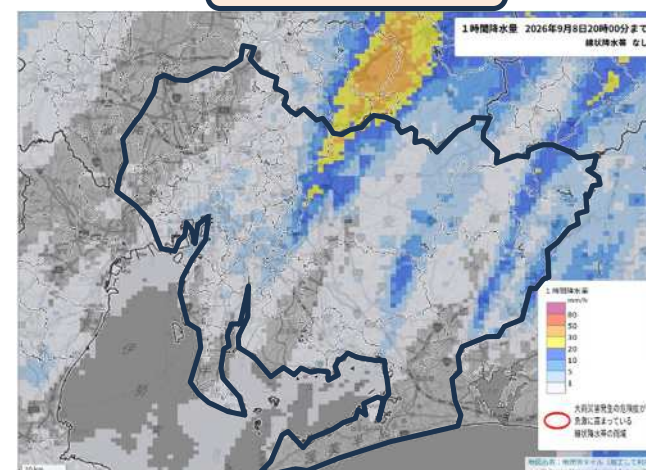
8日18時



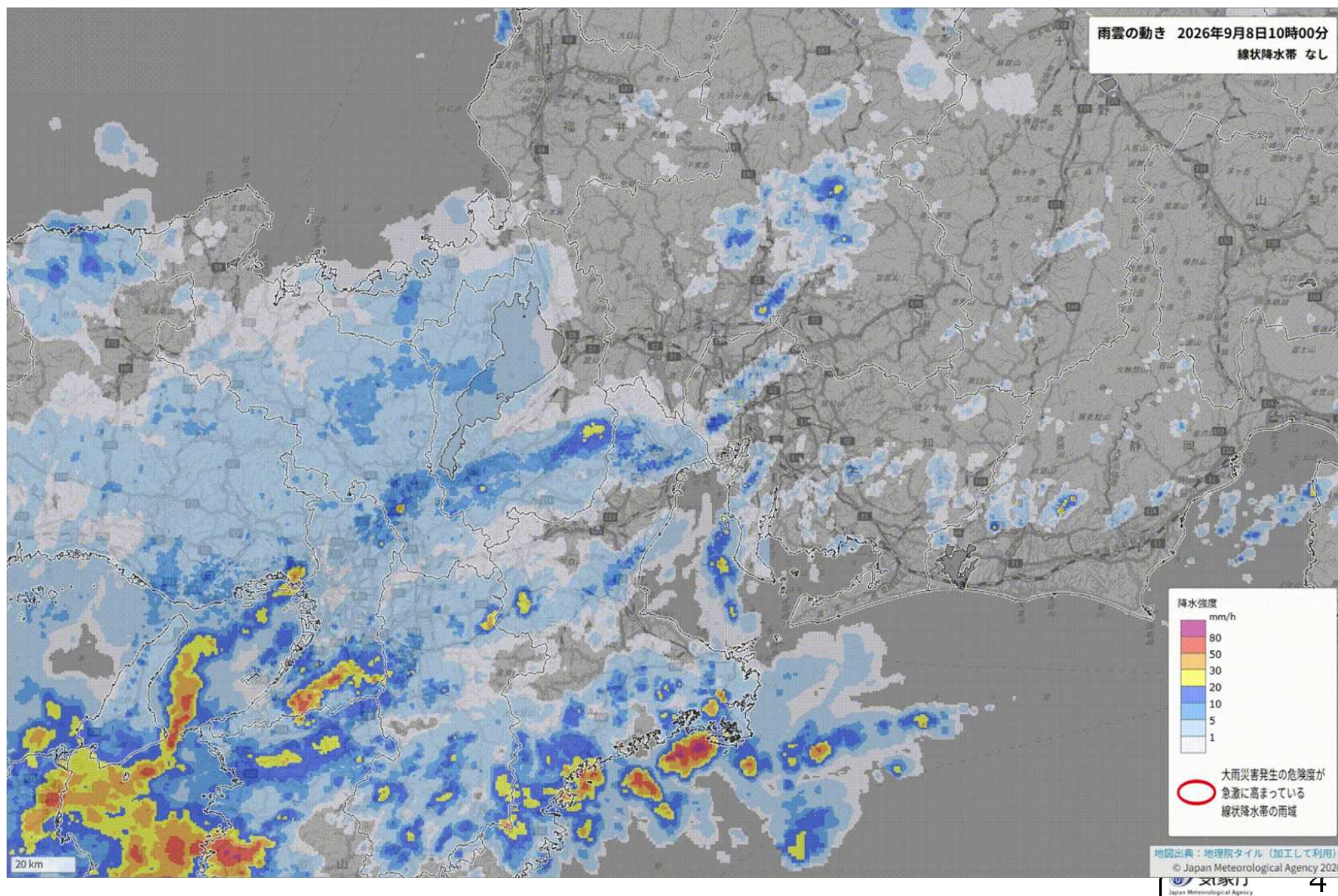
8日19時



8日20時

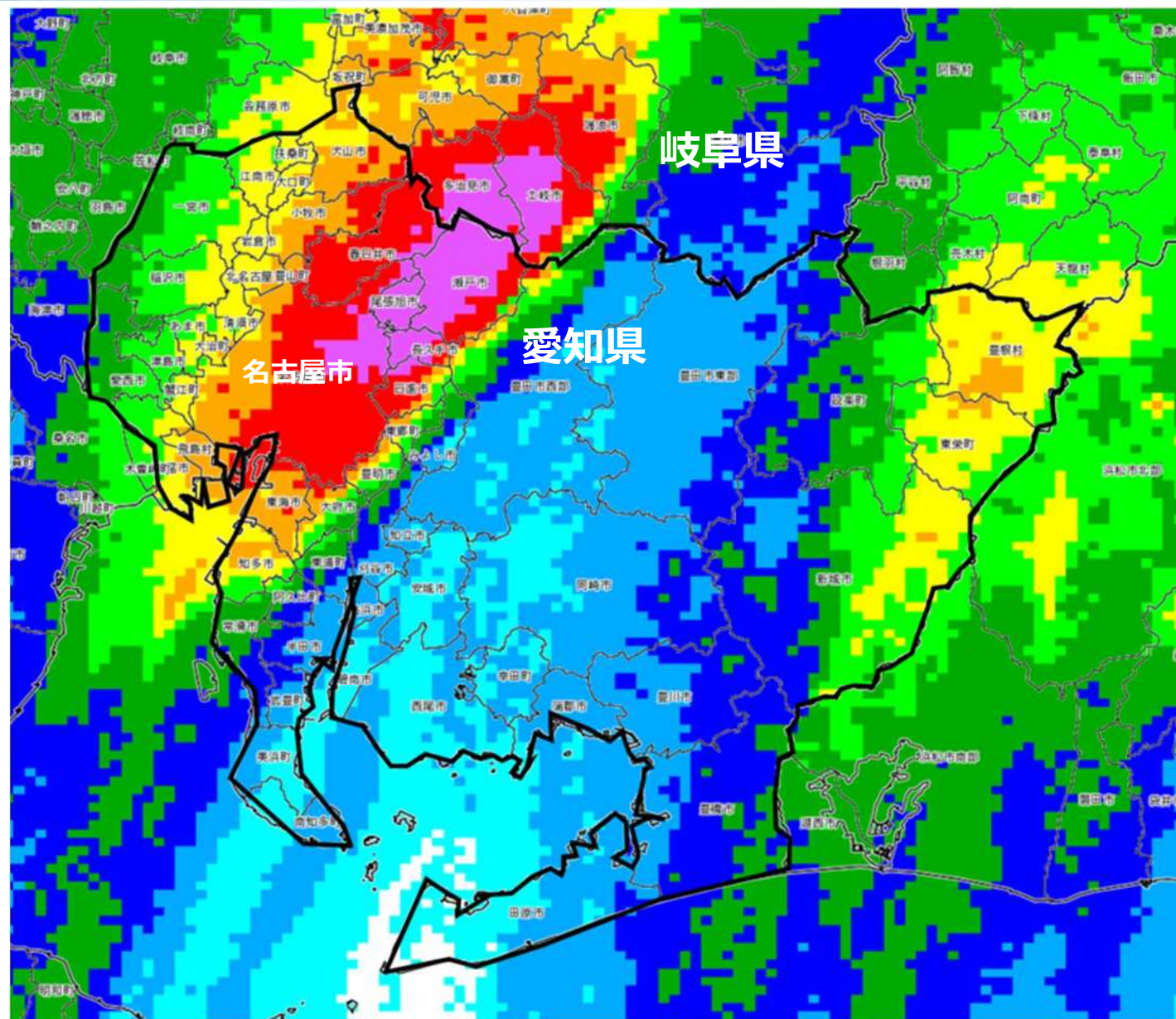


令和8年9月8日10時から20時までの雨雲の動き



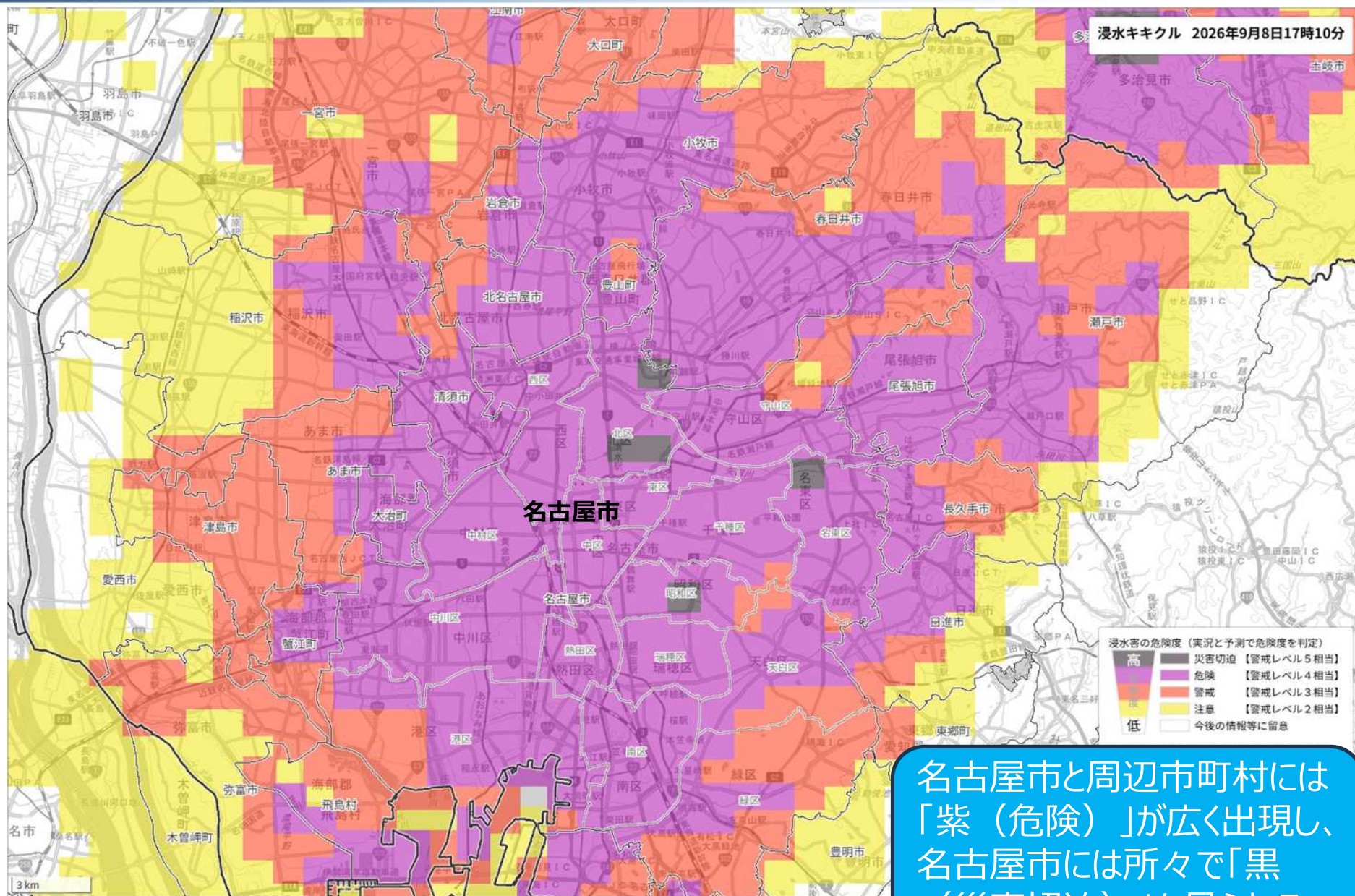
解析雨量（9月8日15時～9月8日18時までの3時間積算）

多いところでは3時間で約250ミリの雨量を解析



0.4- 2- 10- 20- 40- 60- 80- 100- 160- ミ

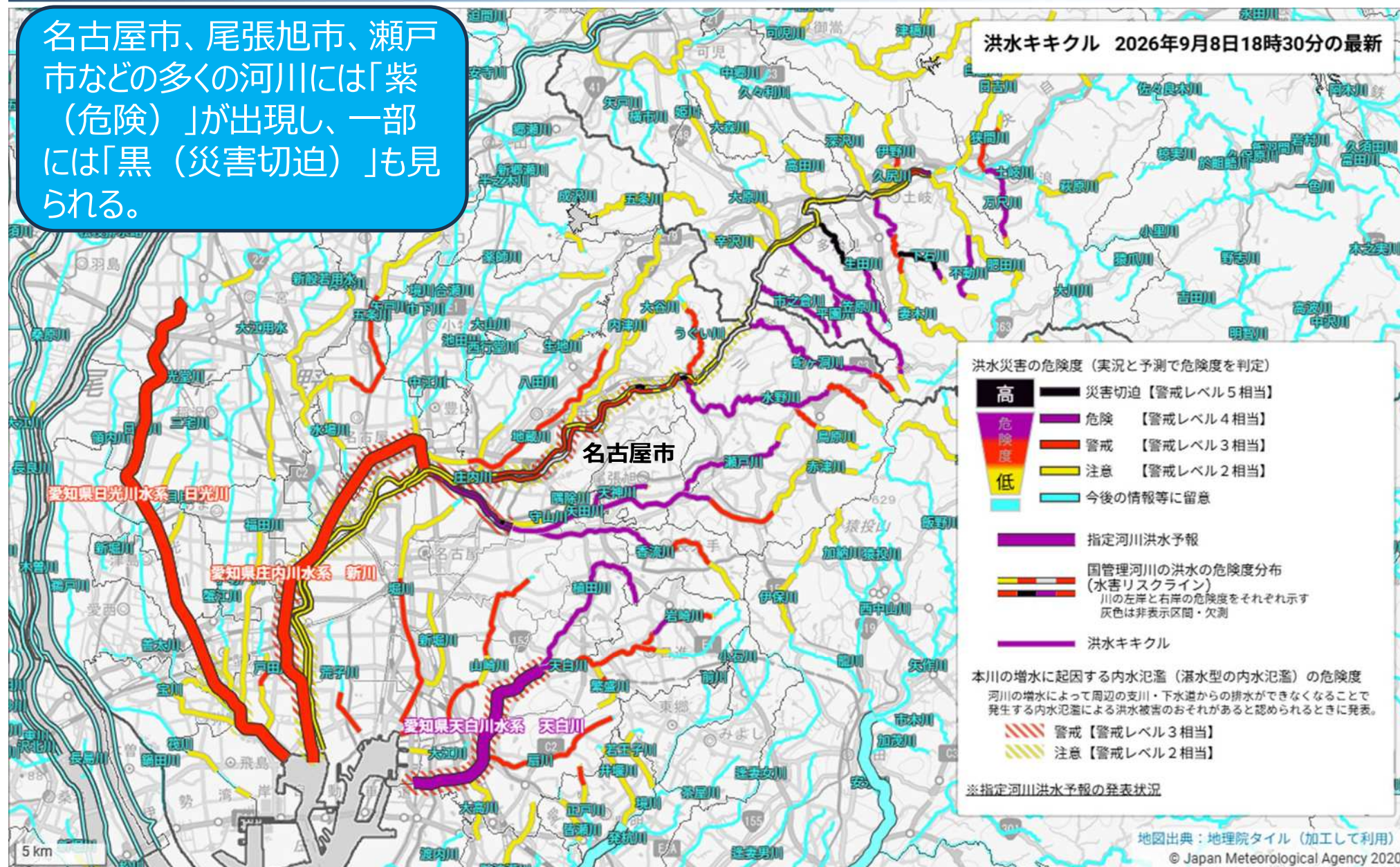
浸水キキクル (9月8日17時10分)



名古屋市と周辺市町村には「紫（危険）」が広く出現し、名古屋市には所々で「黒（災害切迫）」も見られる。

洪水キキクル (9月8日18時30分)

名古屋市、尾張旭市、瀬戸市などの多くの河川には「紫（危険）」が出現し、一部には「黒（災害切迫）」も見られる。



令和8年9月8日の主な防災気象情報

2026年9月8日、愛知県に係るもの、レベル3相当情報以上

情報の種類		対象地域・回数等	
大雨	レベル3 警報	30二次細分区域 (名古屋市、瀬戸市、春日井市、犬山市、小牧市、尾張旭市、豊明市、日進市、東郷町、長久手市、一宮市、津島市、江南市、稲沢市、岩倉市、愛西市、清須市、北名古屋市、弥富市、あま市、豊山町、大口町、扶桑町、大治町、蟹江町、飛島村、東海市、大府市、知多市、豊田市西部)	
	レベル4 危険警報	16二次細分区域 (名古屋市、瀬戸市、春日井市、小牧市、尾張旭市、日進市、長久手市、一宮市、稲沢市、岩倉市、清須市、北名古屋市、あま市、豊山町、大治町、蟹江町)	
土砂災害	レベル4 危険警報	8二次細分区域 (名古屋市、春日井市、犬山市、小牧市、瀬戸市、長久手市、尾張旭市、日進市)	レベル3→4 : 0 レベル2→4 : 8
氾濫	レベル3 氾濫警報	日光川、庄内川、天白川、新川	
	レベル4 氾濫危険警報	天白川、庄内川	
	レベル5 氾濫発生情報	庄内川 【警戒レベル5相当】瀬古基準観測所（名古屋市）受け持ち区間 災害が発生しているおそれがあります。矢田川の瀬古基準観測所（名古屋市）では、「氾濫発生水位」に到達しました。	
気象防災速報	記録的短時間大雨	5回（小牧市、名古屋市、瀬戸市、春日井市、尾張旭市、犬山市、長久手市）	
	線状降水帯半日前予測	2回（8日4時12分、16時6分）	
	線状降水帯直前予測	1回（8日15時48分）	
	線状降水帯発生	1回（8日16時28分）	

令和8年9月8日の主な防災気象情報（時系列）

2026年9月8日、愛知県に係るもの、大雨・氾濫レベル4相当情報以上、気象防災速報（線状降水帯直前予測/発生・記録的短時間大雨）

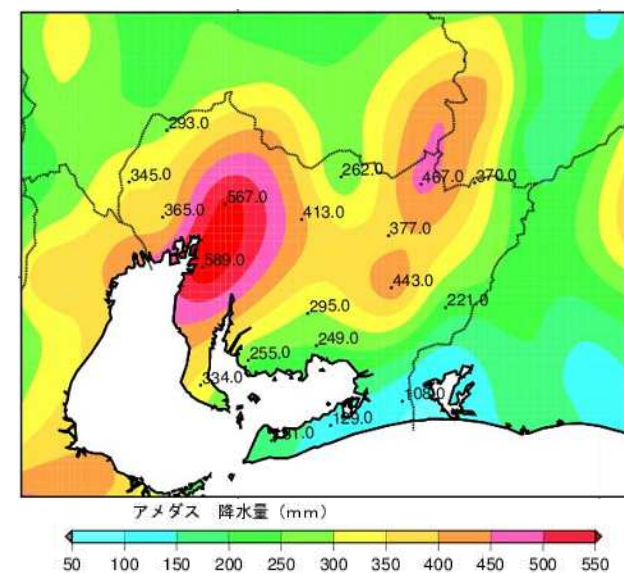
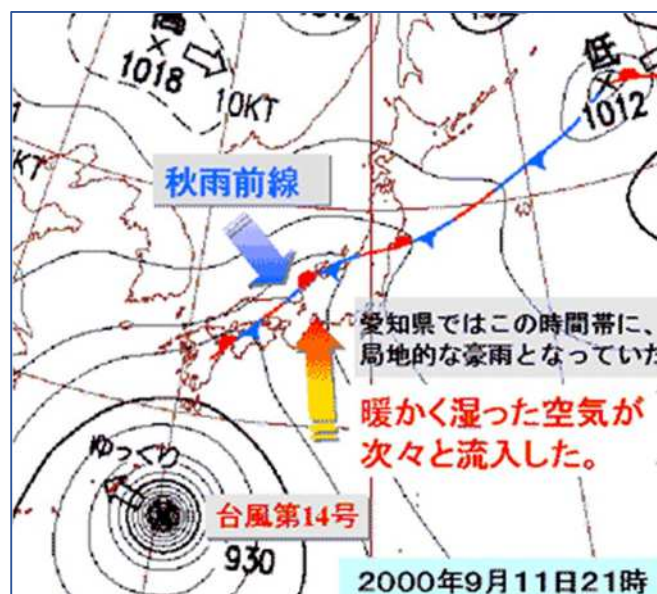
発表日時分	防災気象情報	対象
2026/9/8 15:34	レベル4大雨危険警報	名古屋市、清須市、あま市、大治町、蟹江町
2026/9/8 15:48	愛知県気象防災速報（線状降水帯直前予測）第1号	西部
2026/9/8 15:53	レベル4大雨危険警報	春日井市、小牧市、岩倉市、北名古屋市、豊山町
2026/9/8 16:08	レベル4大雨危険警報	尾張旭市
2026/9/8 16:15	レベル4大雨危険警報	瀬戸市
2026/9/8 16:20	愛知県気象防災速報（記録的短時間大雨）第1号	小牧市
2026/9/8 16:28	愛知県気象防災速報（線状降水帯発生）第1号	西部
2026/9/8 16:30	愛知県気象防災速報（記録的短時間大雨）第2号	名古屋市
2026/9/8 16:40	愛知県気象防災速報（記録的短時間大雨）第3号	瀬戸市、春日井市、尾張旭市
2026/9/8 16:50	愛知県気象防災速報（記録的短時間大雨）第4号	犬山市
2026/9/8 17:09	愛知県気象防災速報（記録的短時間大雨）第5号	長久手市
2026/9/8 17:14	レベル4大雨危険警報	長久手市
2026/9/8 17:45	レベル4大雨危険警報	日進市
2026/9/8 17:55	レベル4大雨危険警報	一宮市、稲沢市
2026/9/8 18:00	愛知県天白川水系天白川レベル4氾濫危険警報	【警戒レベル4相当】天白川基準観測所（名古屋市）受け持ち区間：名古屋市
2026/9/8 18:00	庄内川レベル4氾濫危険警報	【警戒レベル4相当】瀬古基準観測所（名古屋市）受け持ち区間：名古屋市
2026/9/8 18:20	庄内川レベル5氾濫特別警報	【警戒レベル5相当】瀬古基準観測所（名古屋市）受け持ち区間：名古屋市
2026/9/8 18:30	庄内川レベル5氾濫特別警報	【警戒レベル5相当】瀬古基準観測所（名古屋市）受け持ち区間：名古屋市 【警戒レベル4相当】志段味基準観測所（名古屋市）受け持ち区間：名古屋市、 瀬戸市、春日井市、小牧市、清須市、あま市、豊山町、北名古屋市
2026/9/8 23:30	庄内川レベル5氾濫特別警報	【警戒レベル5相当】瀬古基準観測所（名古屋市）受け持ち区間：名古屋市
2026/9/9 00:40	庄内川レベル2氾濫注意報に切り替え	

(参考) 令和8年9月8日の大雨と2000年東海豪雨との違い

	2026年9月8日の大雨	2000年東海豪雨
気圧配置	前線＋熱帯低気圧	前線＋台風
1時間降水量（名古屋）	104.5ミリ	97ミリ
3時間降水量（名古屋）	185.0ミリ	214ミリ
12時間降水量（名古屋）	218.0ミリ	458ミリ
24時間降水量（名古屋）	220.0ミリ	535ミリ

1時間降水量は今回の方が多かったが、3時間、12時間、24時間降水量は東海豪雨の方が多かった。

2000年東海豪雨時の天気図と降水量分布



総降水量（2000年9月11日～12日）

(参考) 令和8年9月8日から9日にかけての大雨に関する愛知県気象速報

名古屋地方気象台
対象地域：愛知県

令和8年9月8日から9日にかけての 大雨に関する愛知県気象速報

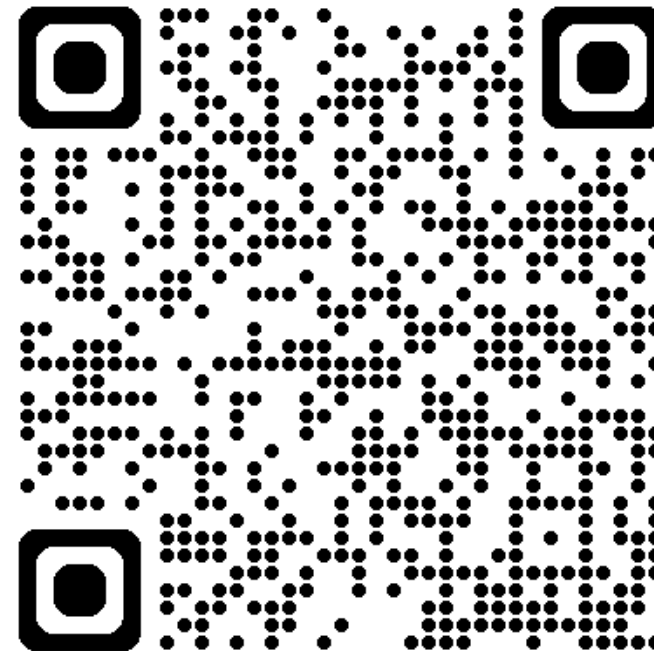
目 次

- 1 概要
 - (1) 資料作成の目的
 - (2) 気象概況
- 2 気象の状況等
 - (1) 地上天気図及び気象衛星赤外画像
 - (2) 大雨の状況等
 - (3) 極値更新状況
 - (4) キキクル
- 3 発表情報
 - (1) 愛知県における特別警報・危険警報・警報・注意報 発表履歴表
 - (2) 気象情報等
- 4 名古屋地方気象台が執った措置
 - (1) 説明会、記者会見等
 - (2) ホットライン
 - (3) JETT（気象庁防災対応支援チーム）
 - (4) 名古屋地方気象台の警戒体制等
- 5 主な災害等の状況

令和8年9月16日
名古屋地方気象台

注：本資料は速報として令和8年9月16日09時までの状況を取りまとめたものです。
後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。

名古屋地方気象台ホームページに掲載（9月16日）
https://www.data.jma.go.jp/nagoya/shosai/news/sokuhou/S_nagoya_20260916.pdf



議題(3) 9月8日大雨の降雨と被害状況

国土交通省
中部地方整備局

出水における水位状況(庄内川水系)

中部地方整備局

速報版

- 庄内川水系矢田川の瀬古水位観測所においては**計画高水位**を超過し、氾濫発生水位に到達したため、レベル5氾濫特別警報/氾濫発生情報を発表、東海豪雨を超える水位を記録しました。
- 庄内川本川においても、志段味水位観測所において、氾濫危険水位を超過し、枇杷島水位観測所においては水防団出動水位を超過しました。
- 庄内川水系土岐川の土岐水位観測所においては避難判断水位を超過し、多治見水位観測所においては水防団出動水位を超過しました。

【水位状況】

(単位：m)

水系名	河川名	観測所名	今回 最高水位	水防団 待機水位	氾濫 注意水位	出動水位	避難 判断水位	氾濫 危険水位	計画 高水位	
庄内川	土岐川	土岐	2026/9/8 20:10 4.68	2.40	3.00	4.00	4.50	4.70	6.39	-
		多治見	2026/9/8 20:40 4.12	2.50	3.20	3.70	5.30	5.60	6.78	-
	庄内川	志段味	2026/9/8 18:30 6.44	3.40	4.60	5.20	5.90	6.40	7.50	-
		枇杷島	2026/9/8 20:30 7.99	4.60	5.60	6.30	8.50	8.90	9.08	-
	矢田川	瀬古	2026/9/8 18:10 6.35	2.80	3.30	5.00	5.20	5.50	5.71	6.11 (氾濫発生水位)



■庄内川水系 矢田川 瀬古水位観測所

ピーク時 6.35m



2026.09.08 18:10

平常時と出水時の比較 庄内川:愛知県区間

中部地方整備局

速報版

■庄内川水系 庄内川 志段味水位観測所



2026.09.08 18:30

■庄内川水系 矢田川 瀬古水位観測所

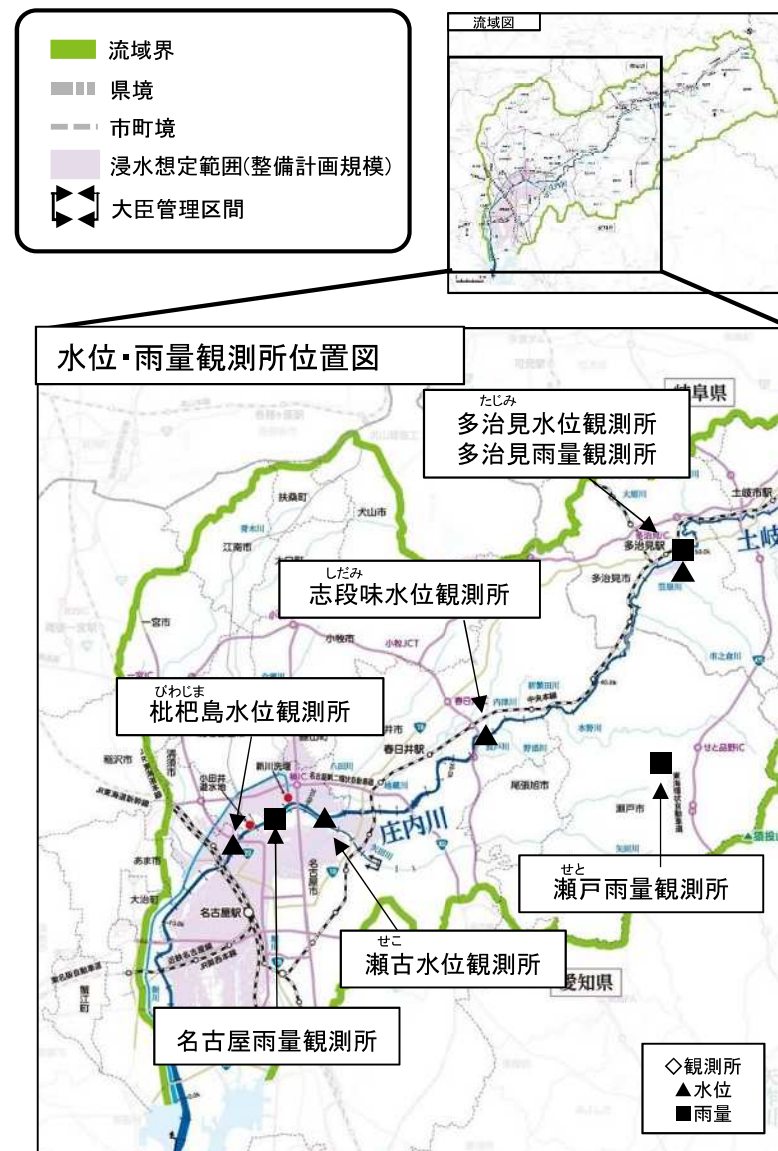


2026.09.08 18:10

■庄内川水系 庄内川 枇杷島水位観測所



2026.09.08 20:30



出水時巡視においては、河川管理施設等の被害状況や堤内地の浸水状況の調査を行いました。

河川巡視 施設状況の確認



河川巡視 施設状況の確認



河川巡視 施設状況の確認



河川巡視 堤内地浸水状況の確認



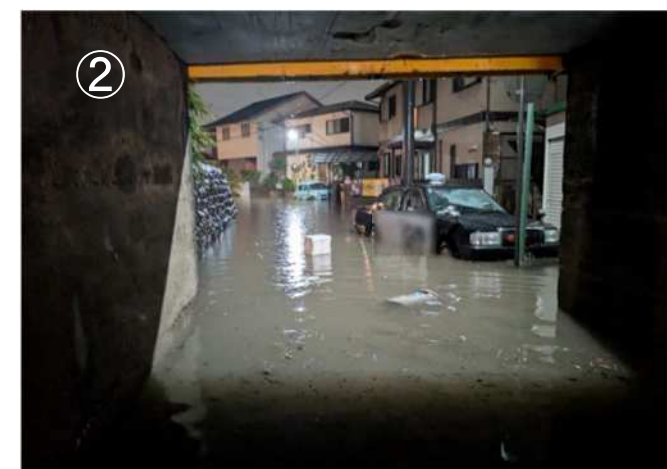
河川巡視 堤内地浸水状況の確認



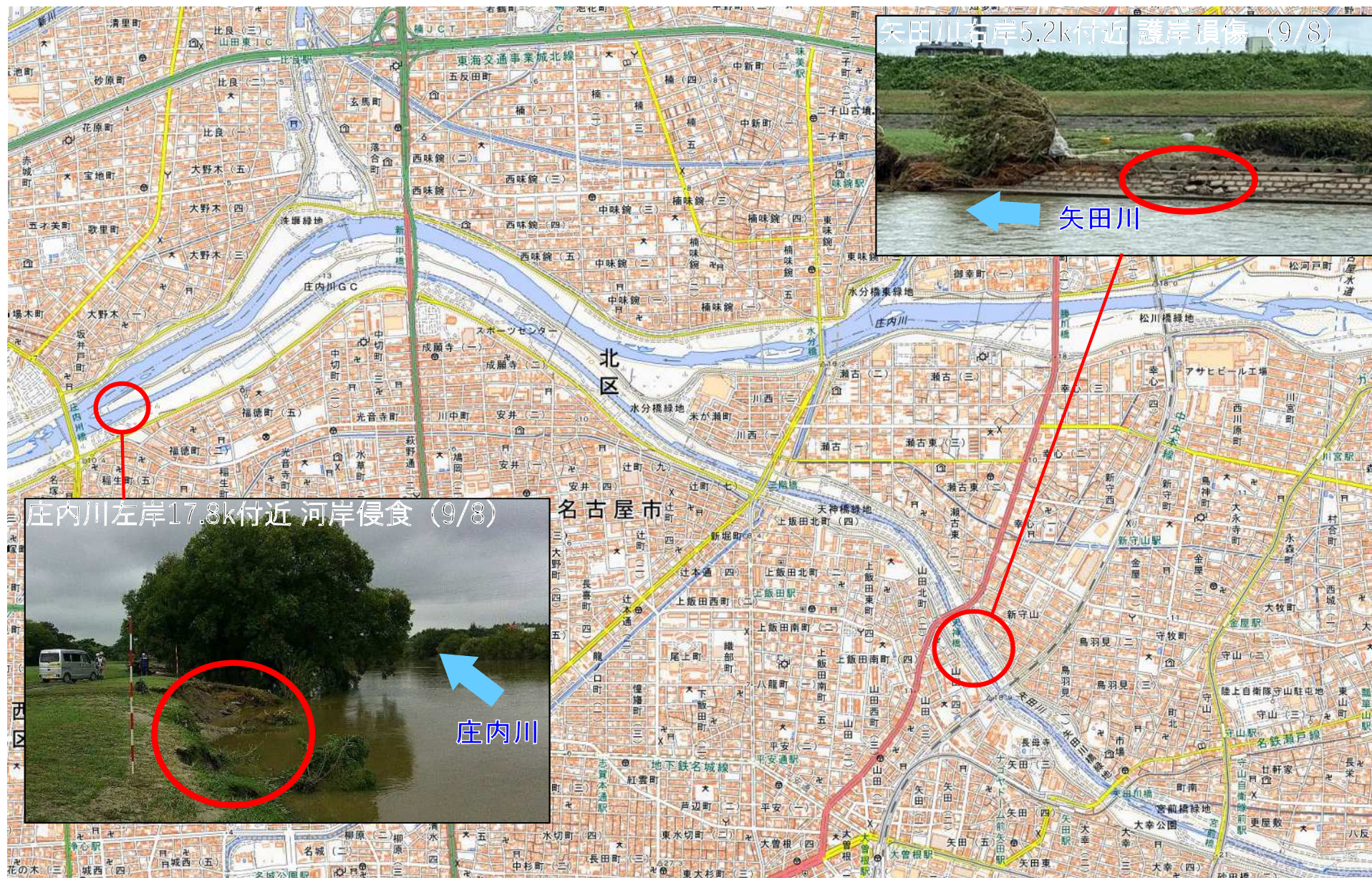
河川巡視 堤内地浸水状況の確認



- 名古屋市守山区町南地先で、0.4m程度の浸水を確認しました。
- 矢田川において氾濫発生水位に到達したものの、調査の結果、河川からの氾濫はしていないと判断しています(内水による浸水)。



庄内川及び矢田川において、河岸侵食、護岸損傷が発生しました。



議題（3） 9月8日大雨の降雨と被害状況

愛 知 県

2026年9月大雨の降雨と被害状況【愛知県】

資料3-3

◆降雨の状況

2026年9月8日の降雨の状況

(1) 気象庁ウェブサイト「降水の状況」より

【地点】名古屋(名古屋市千種区)

★観測史上最大

	8日の最大値		前日までの観測史上1位	
	(mm)	時分(まで)	(mm)	年月日
日最大 ※1 1時間降水量	104.5★	16:53	97	2000/9/11
日最大 ※2 48時間降水量	237	19:30	567	2000/9/13

※1 その日の0:01から24:00まで(1分ごと)における前1時間降水量のうちで最も大きい値。

※2 その日の0:10から24:00まで(10分ごと)における前48時間降水量のうちで最も大きい値。

(2) 愛知県水防テレメータシステム雨量観測局

観測所	所在地	時間最大雨量(毎正時)	
		(mm)	時分(まで)
名古屋	名古屋市中区	79	16:00
瀬戸	瀬戸市	99	17:00
春日井	春日井市	74	16:00
松本	春日井市	80	17:00

◆一般被害

2026年9月18日(午後3時現在)愛知県防災安全局発表

人的被害	軽傷38人	名古屋市35人	北名古屋市2人	蟹江町1人
住家被害	一部損壊10棟	名古屋市9棟	日進市1棟	
	床上浸水396棟	名古屋市279棟	瀬戸市14棟	春日井市73棟
		津島市1棟	小牧市1棟	稲沢市1棟
		尾張旭市11棟	岩倉市4棟	日進市2棟
		北名古屋市1棟	あま市2棟	長久手市5棟
		扶桑町2棟		
	床下浸水605棟	名古屋市179棟	瀬戸市23棟	春日井市261棟
		津島市2棟	犬山市1棟	江南市13棟
		小牧市8棟	稲沢市14棟	大府市1棟
		尾張旭市9棟	岩倉市11棟	日進市2棟
		愛西市1棟	清須市7棟	弥富市4棟
		あま市2棟	長久手市3棟	豊山町61棟
		扶桑町3棟		
非住家被害	公共建物22棟	名古屋市9棟	瀬戸市7棟	小牧市2棟
		日進市1棟	愛西市1棟	長久手市1棟
		東浦町1棟		

議題(4) 河川水位による河川整備の効果の確認

国土交通省
中部地方整備局

【庄内川】 9月8日から大雨における河川水位の比較

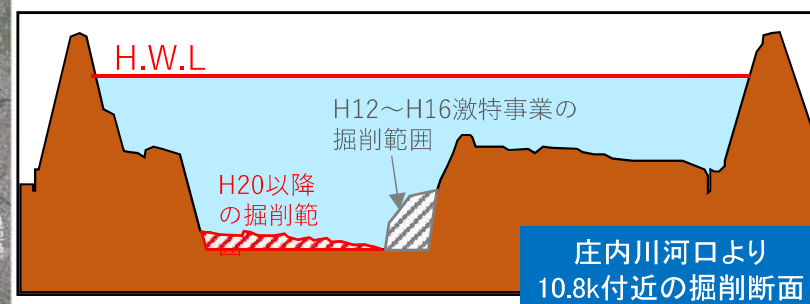
中部地方整備局

速報版

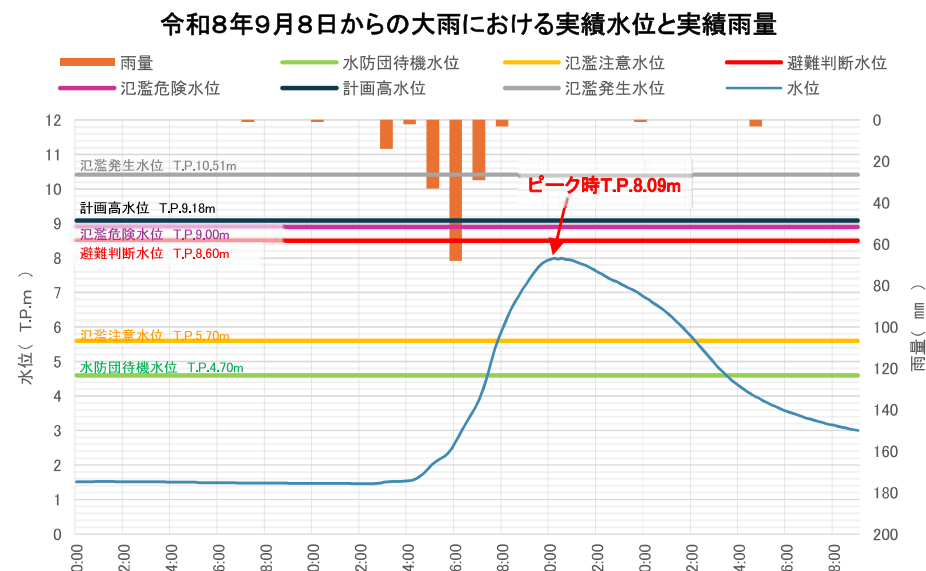
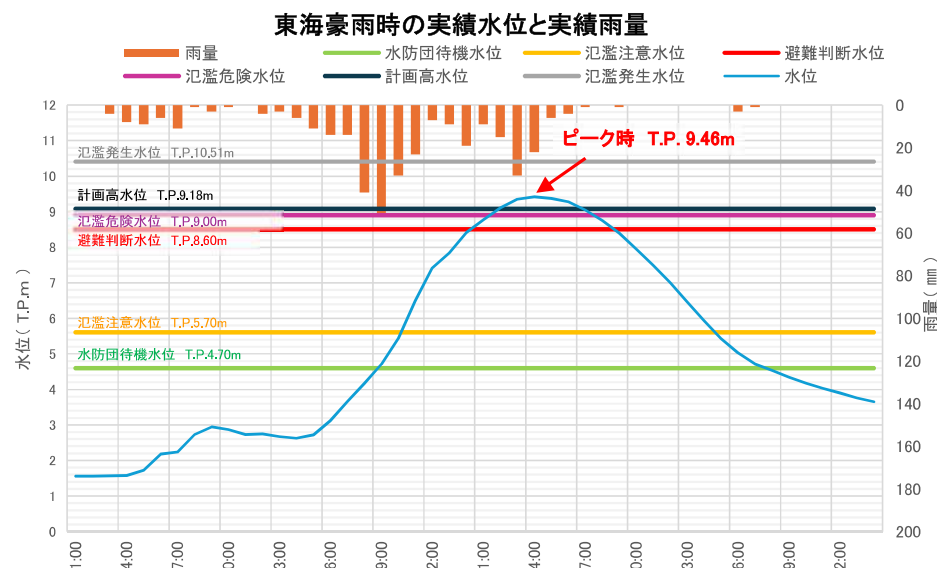
- 庄内川では、平成12年9月の東海豪雨を踏まえ、東海豪雨と同規模の洪水を安全に流下させるため、これまで激甚災害特別緊急事業や平成20年に策定した河川整備計画に基づく河道掘削や堤防整備、橋梁の架替等を実施してきました。
- 国が管理する名古屋雨量観測所の今回の時間最大雨量は68mm/hで、東海豪雨時の52mm/hを上回りました。
- 枇杷島水位観測所における実績水位は、東海豪雨のピーク時T.P.9.46mに対し、今回の出水のピーク時はT.P.8.09mでした（差－1.37m）。

【東海豪雨以降に実施した河道掘削区間】

【河川整備（「河道掘削」）断面】



【河川水位・雨量の比較】



※実績水位は枇杷島水位観測所、実績雨量は名古屋雨量観測所（国土交通省設置）の値。東海豪雨時のグラフに記載している氾濫発生水位等は、令和8年現在の基準水位。

庄内川下流における河川整備の効果

中部地方整備局

速報版

- 庄内川では、平成12年9月の東海豪雨を踏まえ、東海豪雨と同規模の洪水を安全に流下させるため、これまで激甚災害特別緊急事業や平成20年に策定した河川整備計画に基づく河道掘削や堤防整備、橋梁の架替等を実施してきました。
- これらの整備を行ってきたことにより、今回の大雨では**枇杷島水位観測所において約96cmの水位低減効果**を発揮しました。今回、枇杷島水位観測所における水位は氾濫注意水位（警戒レベル2相当）でしたが、整備を実施しなかった場合、氾濫危険水位（警戒レベル4相当）※を
超え計画高水位に迫る水位に達していた恐れがあります。
- また、支川矢田川の瀬古水位観測所においては、氾濫発生水位を超過（警戒レベル5相当）し、堤防が決壊し名古屋市街地に甚大な被害が発生するおそれもありましたが、**これまでの整備により約14cmの水位低減効果を発揮し、堤防決壊のリスクを低減**しました。

※ 氾濫危険水位・・・洪水により相当の家屋浸水等の被害を生ずる氾濫の起こる恐れがある水位

堤防整備(H12～)



河道掘削(H12～)



一色大橋(国道1号)架替(H12～H23)



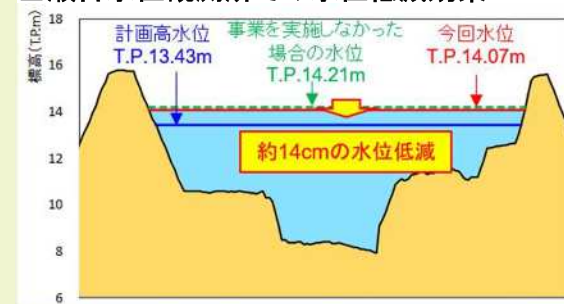
< 凡 例 >

- 堤防整備
- 高潮堤防整備
- 河道掘削
- 橋梁改築

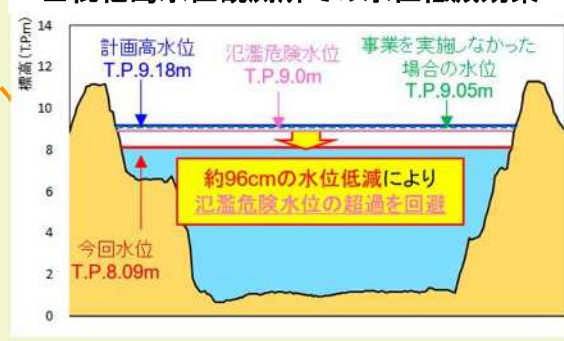
東海豪雨(H12)以降に実施した河川整備



瀬古水位観測所での水位低減効果



枇杷島水位観測所での水位低減効果



議題（４）河川水位による河川整備の効果の確認

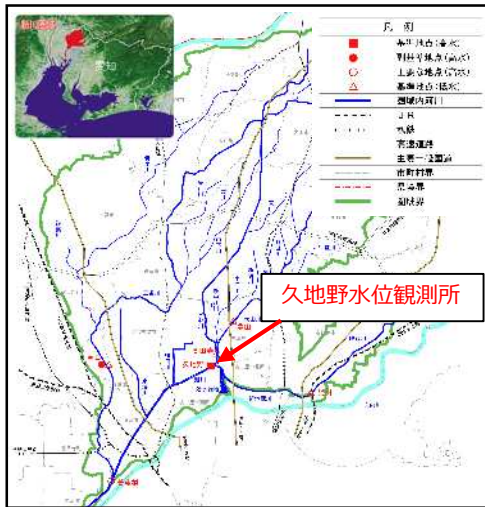
愛 知 県

【新川】2026年9月8日大雨における治水事業効果

愛知県

速報版

- ・新川は名古屋市など11市4町の市街地を流れる県管理の一級河川であり、東海豪雨の被害を受け、河川激甚災害対策特別緊急事業（激特事業）により、2000年度から2004年度にかけて約21.8km（0.0k～21.8k）の区間で堤防整備や河床掘削の河川整備を実施。
- ・名古屋地方気象台での東海豪雨の最大60分雨量が93mmに対して、今回の降雨は104.5mmを記録。
- ・激特事業の効果として、今回の出水に対して、久地野水位観測所の実績水位での比較では**約125cmの水位低減効果**があった。



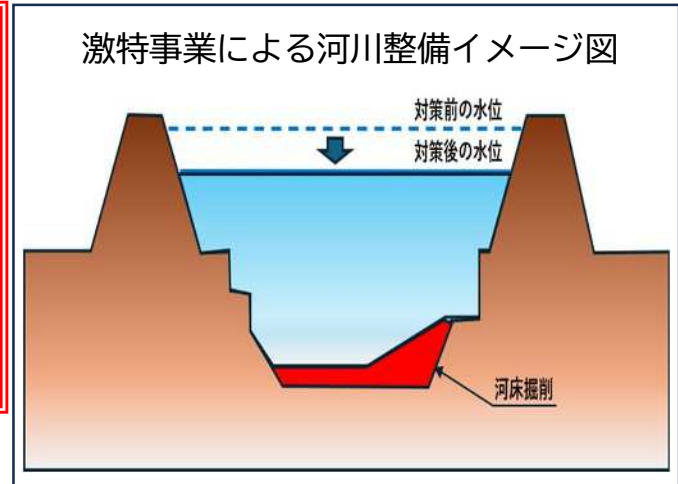
(1) 降雨の状況 (名古屋地方気象台 9月8日)
 日雨量 219.5mm (午前0時～翌日の午前0時)
 最大60分雨量 104.5mm (午後4時00分～午後5時00分)

(2) 水位低減効果(久地野水位観測所)
 実測水位と計画高水位との差
 T.P. 6.07m - HWL T.P. 6.57m = - 0.50m

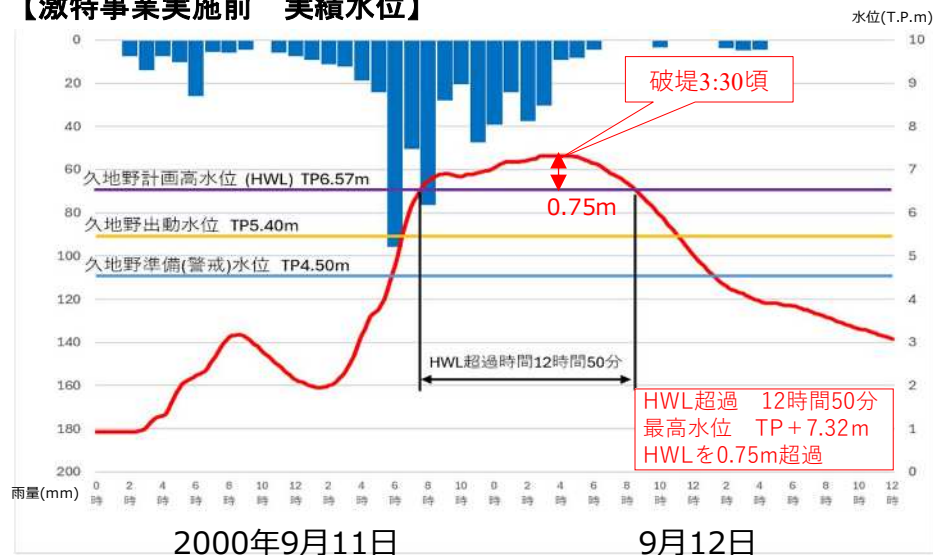
(3) 東海豪雨時の水位との比較
 T.P. 6.07m - T.P. 7.32m = - 1.25m

⇒激特事業の効果として、実測水位で約125cmの水位低減

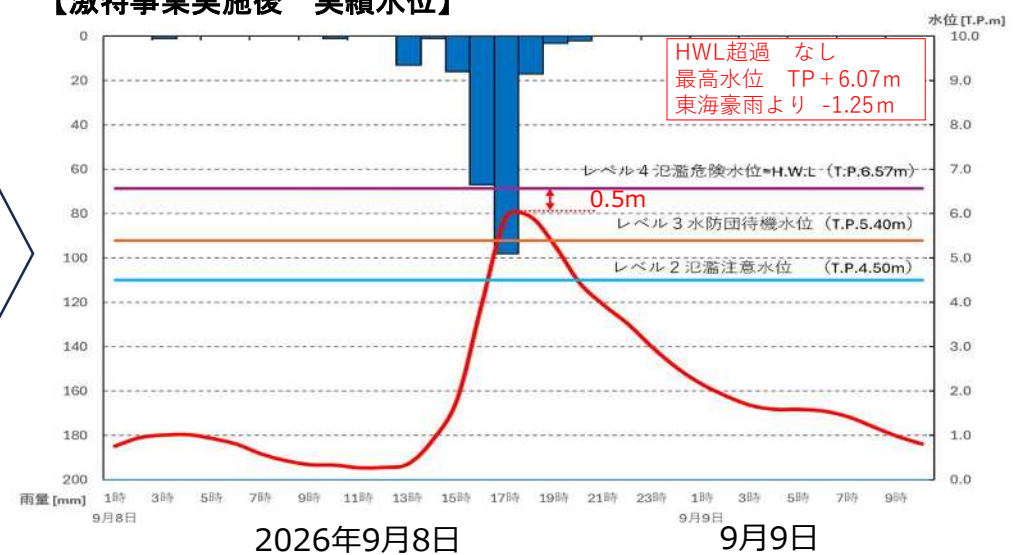
【激特事業による水位低減効果（実績水位の比較）】



【激特事業実施前 実績水位】



【激特事業実施後 実績水位】



【天白川】2026年9月8日の大雨における治水事業効果

愛知県

速報版

- ・天白川は名古屋市など5市2町の市街地を流れる県管理の二級河川であり、東海豪雨の被害を受け、河川激甚災害対策特別緊急事業(激特事業)により、2000年度から2004年度にかけて約7.6km(0.9k～8.5k)の区間で引堤や河床掘削の河川整備を実施。
- ・東海豪雨の最大60分雨量が77mmに対して、今回の降雨は89mmを記録。
- ・激特事業の効果として、今回の出水に対して、天白川水位観測所の計画高水位との比較で約200cmの水位低減効果があった。

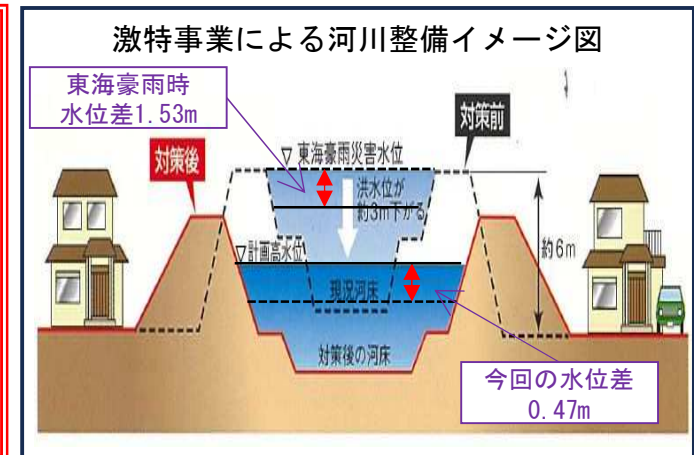


(1) 降雨の状況 (日進雨量観測所 9月8日)
 日雨量 131mm (午前0時～翌日の午前0時)
 最大60分雨量 89mm (午後4時30分～午後5時30分)

(2) 水位低減効果(天白川水位観測所)
 実測水位と計画高水位との差
 T.P. 6.65m - 新HWL T.P. 7.12 = - 0.47m

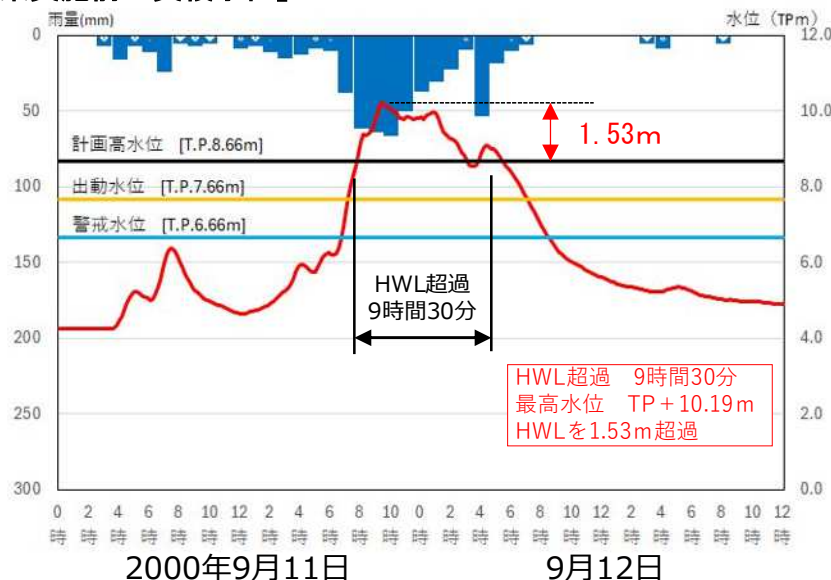
(3) 実測水位と計画高水位との差 (東海豪雨時)
 T.P. 10.19m - 旧HWL T.P. 8.66 = 1.53m

⇒ 激特事業の効果として、計画高水位との比較で約200cmの水位低減 (参考 実績水位の比較は約354cm)

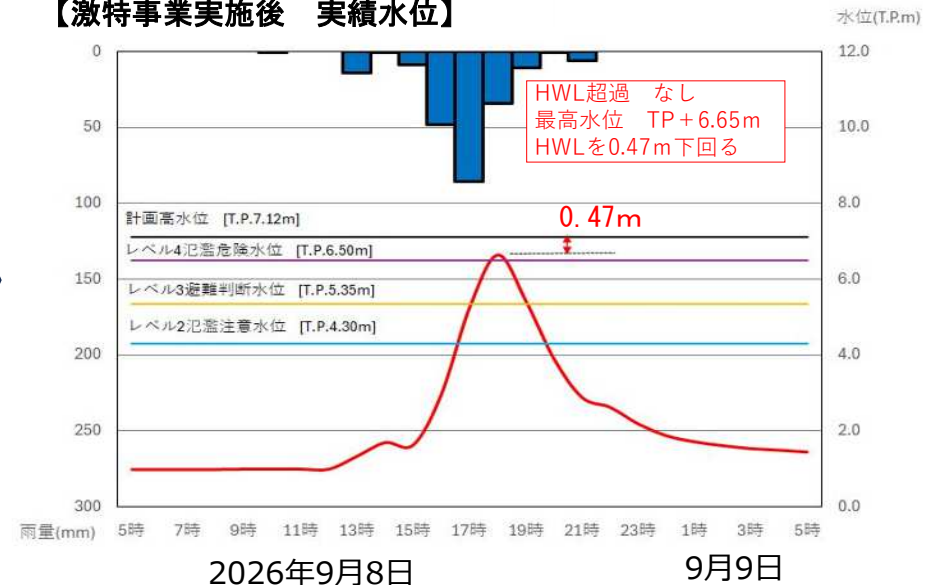


※河川整備基本方針策定時 (2008. 8. 22) に計画高水位を変更

【激特事業実施前 実績水位】



【激特事業実施後 実績水位】

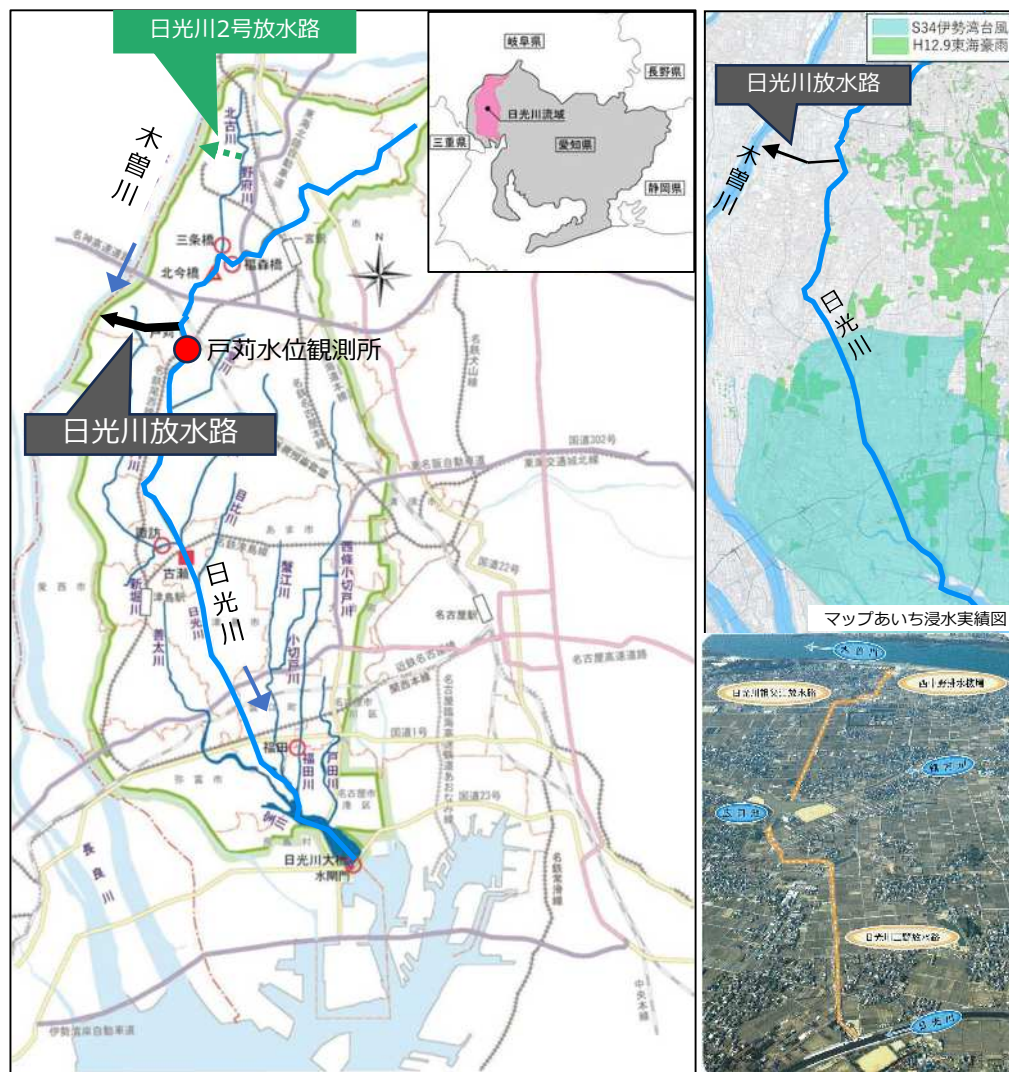


【日光川玉野放水路、祖父江放水路、西中野排水機場】2026年9月8日大雨に伴う治水事業効果

愛知県

速報版

- ・日光川の下流域は日本最大のゼロメートル以下地帯を有し、流域面積の約2/3が強制排水区域
- ・1959年伊勢湾台風、2000年東海豪雨など、これまでも甚大な浸水被害が発生
- ・日光川の洪水を木曽川へ放流($Q=55\text{m}^3/\text{s}$)する日光川放水路(玉野放水路、祖父江放水路、西中野排水機場)を2010年6月供用開始
- ・今回の出水に対して、約77万 m^3 を排水し、戸荻水位観測所において氾濫危険水位の超過を防止
- ・現在、日光川上流域において日光川2号放水路を整備中であり、更なる水位低減効果が期待される



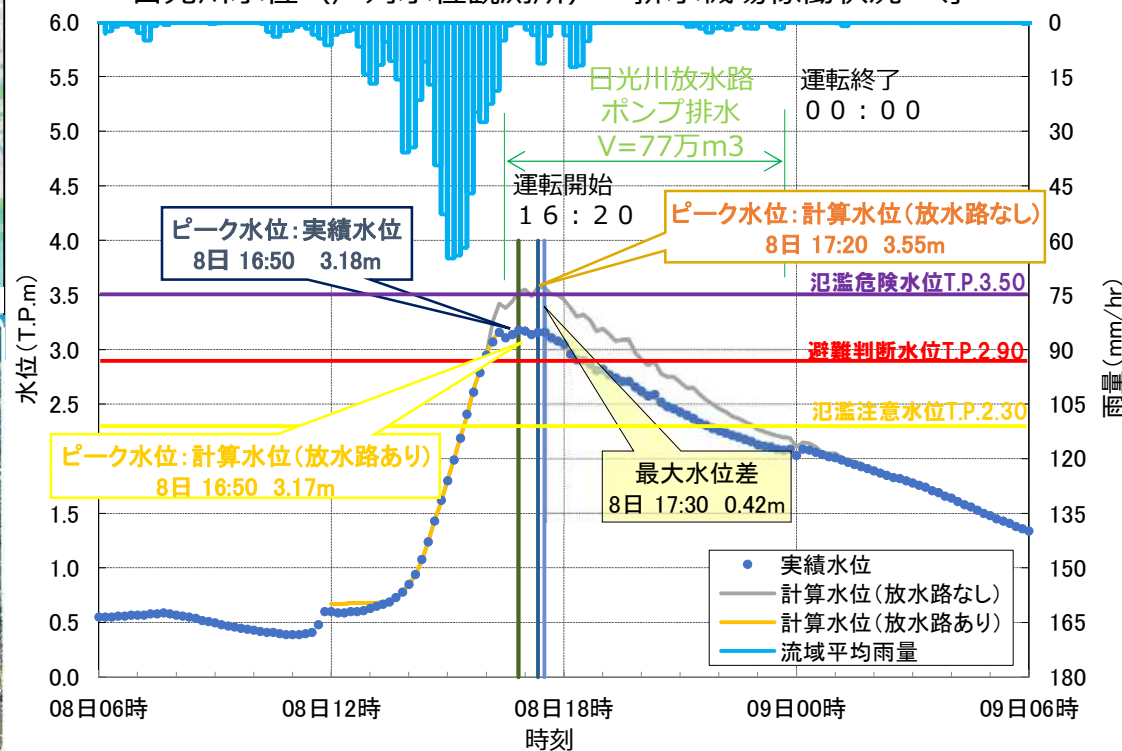
(1) 降雨の状況(戸荻雨量計)

総雨量 119mm(9月8日(火)午前2時～午後11時)
最大60分雨量 49mm(9月8日(火)午後2時30分～午後3時30分)

(2) 洪水調節の状況(観測値は暫定値のため、確定値ではありません。)

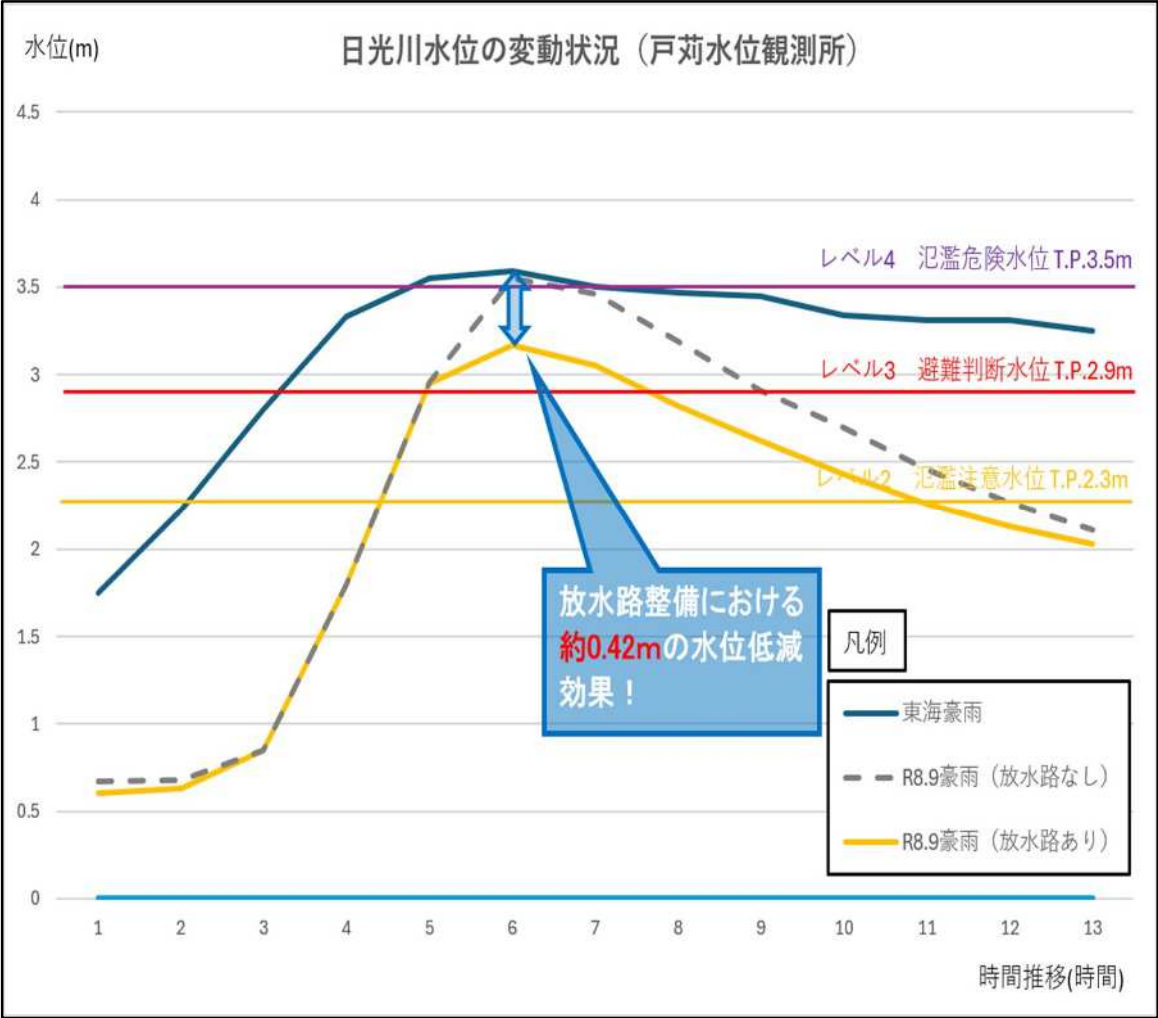
排水機場稼働時間 9月8日(火)午後4時20分～9月9日(水)午前0時00分
(7時間40分)
排水量 77.4万 m^3

日光川水位(戸荻水位観測所)・排水機場稼働状況等



日光川玉野・祖父江放水路の水位低減効果（東海豪雨との比較）

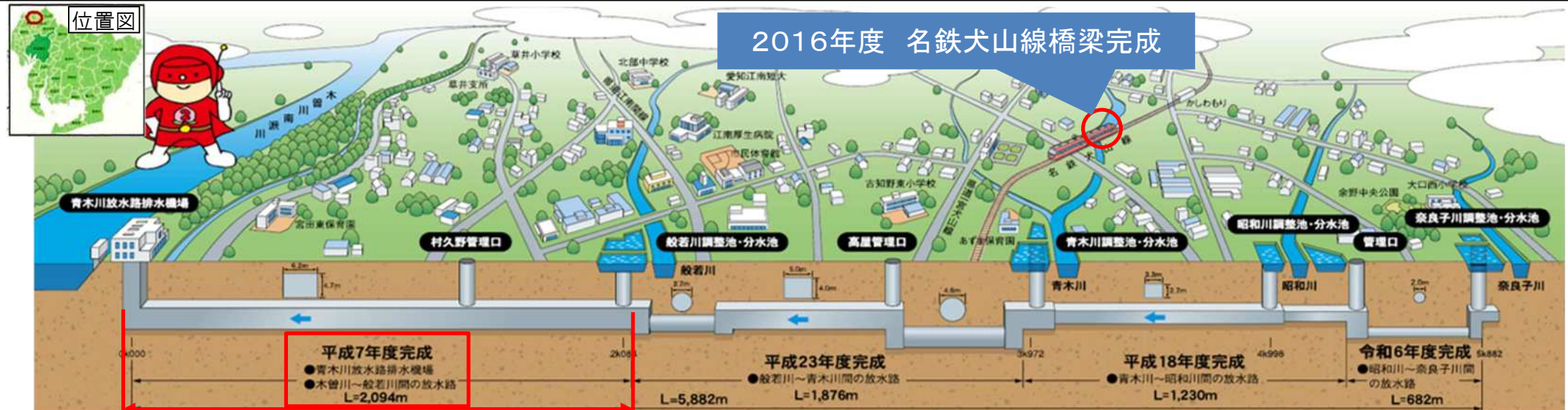
- 日光川玉野・祖父江放水路が無かった東海豪雨の際は、水位が3.59mまで上昇し、氾濫危険水位を超過した。
- 一方、2026年9月8日の大雨では、時間最大55mmの降雨により、1時間で1mを超える急激な水位上昇が発生したものの、日光川放水路の稼働により最高水位は3.17mに抑制された。
- 東海豪雨に対して、放水路により約0.42mのピークカット効果が発揮され、氾濫危険水位の超過を防止したことが確認できる。



	東海豪雨	2026年 9月豪雨 (放水路あり)	2026年9月豪雨 (放水路なし)
時間最大雨量 (総雨量) (津島)	53mm (339mm)	55mm (119mm)	55mm (119mm)
最高到達水位 (戸荻)	3.59m	3.17m	3.55m
判定	H.W.L.超過 (レベル4 相当)	レベル3	H.W.L.超過 (レベル4 相当)

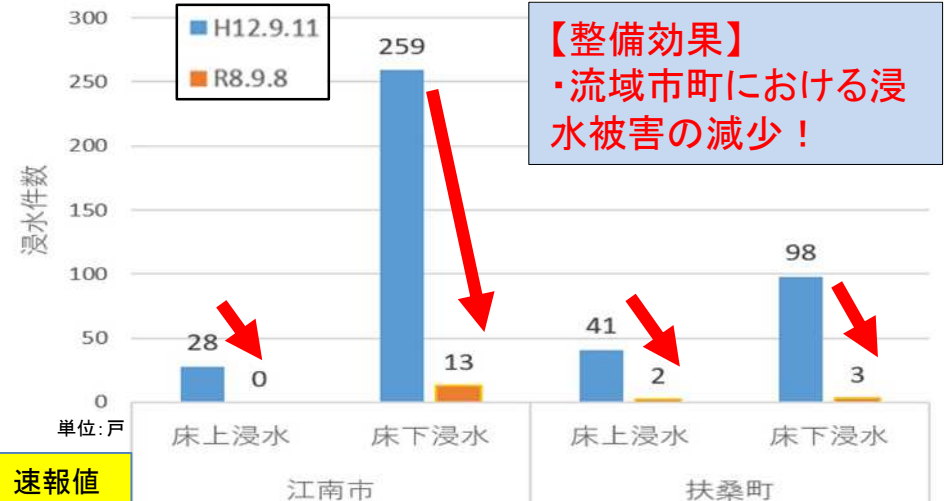
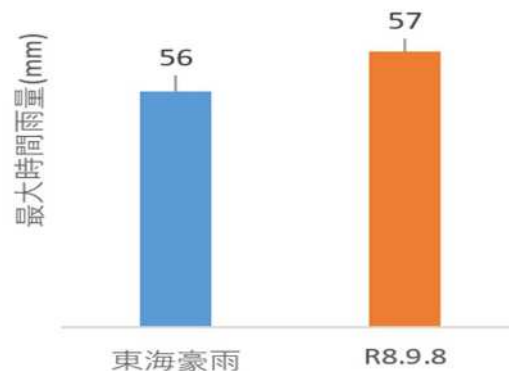
【庄内川水系青木川・青木川放水路】 2026年9月8日大雨の治水事業効果

- 青木川では、1982年(S57)から流域における洪水の一部を木曽川へ排水することを目的として青木川放水路事業に着手。
- 青木川放水路は、東海豪雨時は、木曽川から般若川(はんにやがわ)までの一部区間の供用。
- その後、2016年度にネック点となっていた名鉄犬山線橋梁を改築し、2024年度に青木川放水路も全川で供用を開始。
- 今回の出水では、東海豪雨時を上回る時間最大雨量57ミリの降雨となったが、青木川放水路排水機場を稼働させ、約12万 m^3 を木曽川へ排水したことで、青木川の河川水位を低減させ、流域市町における浸水被害の軽減に寄与した。



東海豪雨時整備済み区間

降雨状況 (一宮観測所)



○排水機場稼働状況

【稼働時間】

・2026.9.8 17:08～23:59

【排水量】

・約 11.6万 m^3

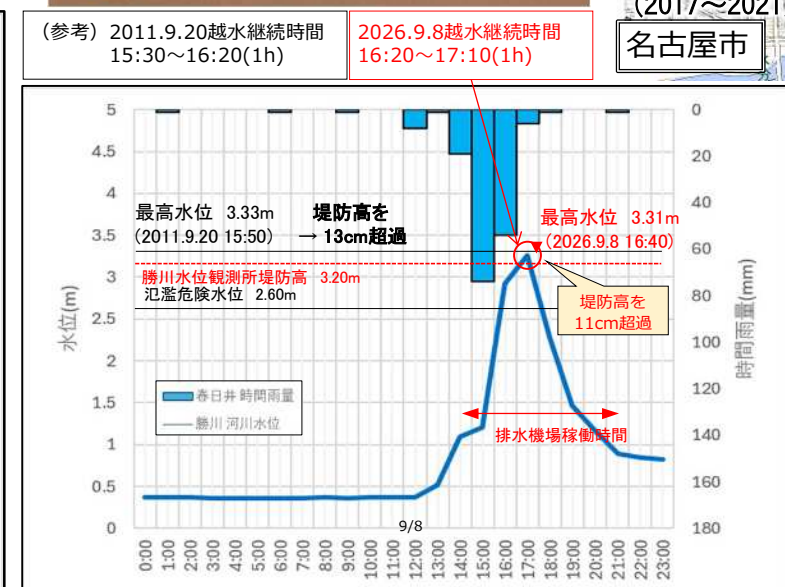
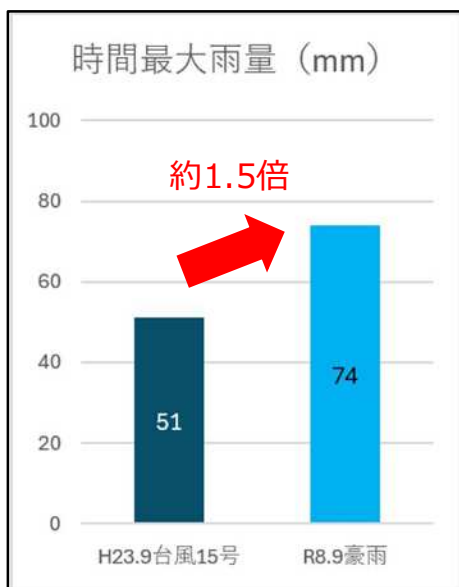
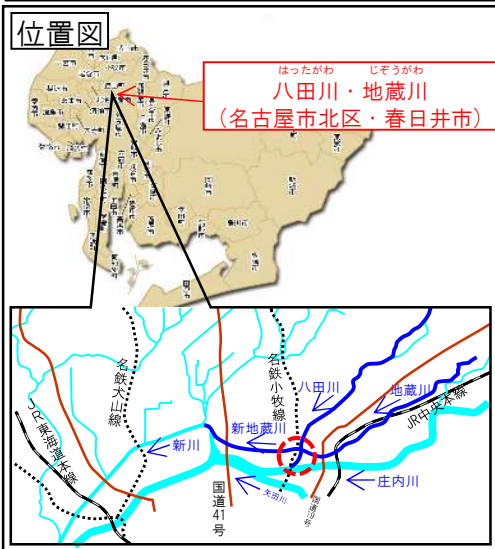
※25mプール 約357杯分

【庄内川水系八田川・地蔵川】2026年9月8日豪雨に伴う大雨に対する治水事業効果

愛知県

速報値

- 八田川・地蔵川では、2011年9月の台風15号に伴う豪雨による家屋浸水被害（床上浸水217戸、床下浸水183戸）を契機に、床上浸水対策特別緊急事業や緊急3か年事業、5か年加速化事業により、八田川の河道整備、橋梁改築及び地蔵川の排水機場の整備を実施。
- 今回の出水では、2011年9月（時間最大雨量51mm）の出水に対し、**約1.5倍の時間最大雨量74mm**を記録したが、2023年6月1日より供用開始した地蔵川排水機場を運転し、**約43万m³排水**し、地蔵川の水位を下げることに寄与した。



【ポンプ稼働時間】

- ・約6時間

【排水量】

- ・約42.3万m³
(25mプール：約780杯分)

※今回出水の浸水範囲や浸水戸数は現在精査中。

【整備効果】

- ・2011年の**約1.5倍の時間雨量**に対し、ポンプが稼働したことで、越水時間も同程度に抑えられ、**水位低下**も図ることができたため、**整備効果は高い。**

【調節池】2026年9月8日大雨に伴う治水事業効果

愛知県

速報版

- ・洪水の一部をカットし、安全に流下させるため、県内において調節池の整備を32箇所実施。
- ・その内、青木川第4調節池をはじめとする庄内川水系の調節池では約88万 m^3 、森遊水池をはじめとする日光川水系の調節池では約41万 m^3 を貯留容量があり、合計約129万 m^3 の貯留施設を活用することで、流域における浸水被害の軽減に寄与している。
- ・東海豪雨以降に整備された調節池は9施設であり、2027年度には新たに江南遊水地の完成を予定している。

	施設名	河川名	箇所	完成年	洪水調節容量 (m ³)
①	福田川奥田遊水地	福田川 (二級)	稲沢市	1989	49,000
②	福田川中之庄遊水地	福田川 (二級)	稲沢市	1991	127,000
③	中島調節池	青木川 (一級)	扶桑町	1994	27,100
④	般若川放水池	青木川放水路 (一級)	江南市	1994	11,300
⑤	般若川調整池	青木川放水路 (一級)	江南市	1994	18,300
⑥	青木川放水池	青木川放水路 (一級)	江南市	1994	1,290
⑦	青木川調整池	青木川放水路 (一級)	江南市	1994	14,700
⑧	昭和川放水池	青木川放水路 (一級)	江南市	1994	2,040
⑨	昭和川調整池	青木川放水路 (一級)	江南市	1994	6,000
⑩	奈良子調整池	青木川放水路 (一級)	大口町	1994	8,310
⑪	森遊水池	福田川 (二級)	あま市	2001	232,000
⑫	高雄調節池	青木川 (一級)	扶桑町	2003	24,700
⑬	五条川調整池	五条川 (一級)	あま市	2004	107,000
⑭	新川治水緑地	新川 (一級)	名古屋市	2005	550,000
⑮	青木川第3調節池	青木川 (一級)	一宮市	2019	12,600
⑯	中江川調節池	中江川 (一級)	小牧市	2020	58,000
⑰	青木川第4調節池	青木川 (一級)	江南市	2023	24,400
⑱	奈良子放水池	青木川放水路 (一級)	大口町	2023	1,162
⑲	水場川調整池	水場川 (一級)	清須市	2025	12,840
⑳	江南遊水地	日光川 (二級)	江南市	2027 予定	11,000



9月8日15:50
青木川本川から調節池への貯留状況



9月9日13:30
青木川本川から調節池への貯留状況



9月8日18:00
新川から治水緑地への流出状況



9月8日19:10
庄内川から治水緑地への流出状況



議題（５）効果検証の方向性及び今後のスケジュール

- 第1回検討会においては、庄内川、新川及び天白川の主要な水位観測所において、河川整備による低減効果を確認するため、東海豪雨時と2026年9月の大雨時の実績水位の比較を行った。
- 第2回においては、**複数の降雨**を対象として、**東海豪雨時と現況の河川断面**で**外水氾濫**シミュレーションにより**浸水範囲、浸水戸数、被害額等を算出**し、これまで実施してきた河川整備の効果を定量的に示す。

外水氾濫シミュレーションの例

対象河川

- ・ 庄内川
- ・ 新川
- ・ 天白川

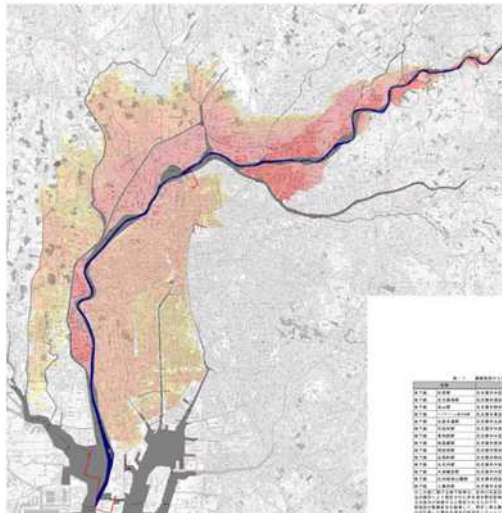
対象降雨

- ・ 2000年東海豪雨
 - ・ 2026年9月8日の大雨
- ※必要に応じ代表的な降雨

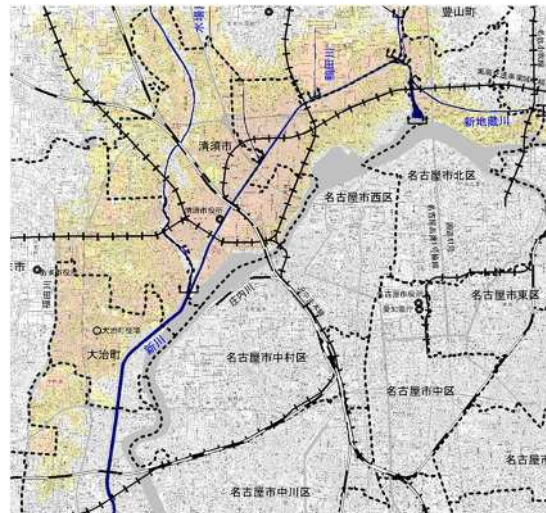
河川断面

- ・ 東海豪雨時
- ・ 現況

庄内川



新川



天白川



2026年9月8日から9日にかけて大雨発生

2026
年度

『効果検証会議（第1回）』 本日（9月30日）

- ◆東海豪雨時の降雨と被害状況
- ◆東海豪雨後に進めてきた河川整備の概要（国、県）
- ◆河川水位による河川整備の効果の概略確認
- ◆効果検証の方向性及び今後のスケジュール

『効果検証会議（第2回）』 年度内

- ◆9月8日大雨を対象とした河川整備の効果を再現計算等により検証
- ◆今後見込まれる様々な降雨に対し整備効果を検証
- ◆河川整備の事業効果の見える化と更なる周知の強化

2027
年度

『シンポジウム』 2027年5月頃

- ◆東海豪雨及び9月8日大雨の浸水被害の振り返りと比較
- ◆9月8日大雨を対象とした河川整備効果検証結果
- ◆今後の河川整備の重要性を発信
- ◆河川整備の効果の発信